京城日報

本紙定價 一部金五錢▲一ヶ月金壹圓▲參ヶ月前金參圓▲六ヶ月…▲…

廣告料金 …

發行兼編輯人 奧田山毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號長六千九番‧長六千九番二 (振替京城三〇〇)

## 支那代表の聲明

[illegible]支那代表者顧維鈞氏は十八日の總會席上山東問題其他重要なる諸問題の提出を更に後[illegible]

## 過軍波蘭進擊準備

[illegible]報道によれば四萬の露國過激派軍はリスアニア國境に集中され[illegible]

## 墨國罷業解決

[illegible]同盟罷業の擧に出でんこしたる國有鐵道の從業員は十六日政府が從業員側の要求全部を[illegible]く目下の所車論に對する今日後給の聯絡を絶み切斷すべく努めつゝ[illegible]

## 邦人無事脱出

[illegible]蒙古侵入軍は同地に通ずる北部[illegible]落下したる爲再び庫倫に引返し[illegible]以外の總ての要古よりの物資供其の後同一行は稍西方に寄りて進みたり最初同一行を砲擊した[illegible]

## 天氣豫報

[illegible]十九日全鮮降雨雪を催したる低氣壓は支那東海より海を經て朝鮮西岸に擴張し滿洲北部及日本海に向ひて氣壓減少しつゝあるを[illegible]

## 京城日報 產鐵解散問題

朝鮮產業鐵道の解散問題は、尠なくも朝鮮に於ける一般の輿論を喚起し、反對の氣勢を昂むるに至つた。之が爲め各地の商業會議所は、その反對を聲明し、二十一日京城商業會議所に開かる臨時大會の第一問題は本案にあるやうだ。此の解散決議が、假りに朝鮮統治の大本に關する重要問題でないにしても、此の解散に依りて、產鐵の豫定線路沿道は、當分產業開發の希望が少くなり、交通狀態の改善は行はれず、更に間接には各會社の事業に影響を及ほし、一般經濟界を脅威し、朝鮮事業界經濟界を累するの恐れありて、之が爲めに朝鮮の蒙る直接間接の利害が莫大なる以上、只此の一點を以てしても、商業會議所の此の擧は、時宜の處置と謂はねばならぬ。

產鐵解散理由こして、表面に現れた處を見るに、單に實業家の立場こしては、財界不況の今日であるから、强ち無理からぬこゝ思はるゝ點も無いではないが、元來此會社創立の精神を見れば、只單なる營利會社こして計畫されたのではない筈である。即ち朝鮮の統治上、交通機關を完備し、產業を開發する爲めに鐵道を普及することが、刻下の急務であつて財政さへ許せば總督府自ら建設すべきものを、經費の關係上、多額の建設費を要することは、財政の都合上容易でなく、公債支辨も意の如くならぬこ云ふ處から、私設鐵道を許可して、支線の完成を期しやうこする。實に刻下の朝鮮統治の大方針に基いて居るのである。隨つて總督府は、特に年八朱の利子補給を定め、更に其の補給は向ふ十箇年に亘つて斷すべく、既に幾多の言質を與へ、現に其の手續中にありこ聞く。藤山社長を初めさして、大株主たる有馬、島田、古賀諸氏の如きも、此の國家的觀念を以て此會社創立の計畫を立てたに相違あるまい。勿論理屈を云へば、商法に依る一個の會社組織を以て、創立した產業鐵道の事なれば、正しく營利會社には相違ない、又多數の株主が、其の自家の利害の打算から、之が解散を決議するに至つたことは、一應尤ものやうにも見ゆるが、藤山社長始め產鐵の重役諸氏が、國家的觀念を以て終始するの覺悟があり熱誠があつたならば、其の解散防止は差して困難なことではなかつたらうこ思はれる。而して眞に解散せなければならぬ事情があり、また一方產鐵の解散が、國家の大策に及ほす影響が大なりこすれば、其間何等かの方法が講ぜられない譯でも無かつたらう。聞く處に依れば、產鐵の專務岡村氏は、頃日入城して、解決認可に付當局こ折衝中であるこのことである。會社の重役こしては、既に株主總會に於て、適法に依り解散決議をなしたことではあり、當局の認可を得るに努むるであらう。然れ共輿論は產鐵の解散を不可こして、全鮮の商業會議所は一齊に立つて、反對を聲明して居り、然も其の事は、朝鮮統治の大本に基く、重大問題こして取扱はれつゝあるに於ては、此輿論を全然無視する譯にも參るまい。さりこて既に解散を決議したる會社の重役並に株主に反省を促し、此の決議を取消して、更に陣容を立て直させるのは容易のことではあるまい。然し產鐵の解散に至つたに就ては、世間傳ふる處の其裏面の理由があり、非解散派こして少からずこのことで、解散決議の効力の生せざるに先つて、決議を飜すに足る浮動株約八萬株を、非解散派に於て、買收すれば解散防止も穴勝困難でないならば、之を試むるこゝも徒勞ではあるまい。また解散防止の方法こして補給利率を一割に增加すべきを主張するものもあり、此れが實行し得るものであるかは知らないけれごも、何れにしても現在の解散派の手より引離して、事業を進行し得るの途があるならば、吾人は雙手を擧げて賛成するのである。總督府は、其の朝鮮統治上の責任こ、最初之を許可したる立場を考慮し、また一般の輿論も尊重し、以て今次の產鐵解散問題に對しては、冷靜にして嚴正愼重の態度を以て、之に處することゝ信ずる。

## 朝鮮の交通問題 (三)

殖產鐵道常務 賀田直治

### (四) 江運

朝鮮の河川は可なりに大なるものありこ雖も總じて云へば河川には左の缺點あり

一、治水不完全にして土砂の流失及河床の隆起せることゝ
二、冬季結氷することゝ
三、干滿の差甚しきことゝ
四、朝鮮船の構造粗笨にして艤舫も用ひざりしを以て艀船にて操縱も遲鈍なること

然れごも朝鮮には漢江、洛東江、大同江、豆滿江、鴨綠江(以上朝鮮の五大江)錦江、臨津江、蟾津江等あり相應水運の便を有し近時船舶の改良又は蒸汽船の航行するあり但以上の缺點あるに依り時間の急こ正確を要するものには適當ならず將來地方產業の發達に依り江運は相當の影響を受くるべし但し物貨の増加こに依り加はる時は各相應の繁榮あるべきも現時に於いては不振を免れず

河川に於いて筏運搬等の利用あり地方に依り相當に發達し特に鴨綠江及豆滿江の木材筏は朝鮮名物の一なり

### (五) 道路

總督府の設置せらるゝや朝鮮全道に亘り道路網を規劃制定せり即ち一等道路を十七線總延長七百八十九里九分二等道路を七十九線總延長二千三百五十二里四分合計九十六線總延長三千百四十二里三分なり此の中緩急を計り急施を要するものを第一期に於て改修を施すこゝし、一、二等道路計三十四線延長六百八十五里を總工費一千萬圓を以て明治四十四年度以降七ヶ年の繼續事業こなし改修に着手し大正七年三月竣工を告げたり其後第二期治道工事を計畫し總工事費を七百五十萬圓こし重要線路二十六線延長四百七十八里八分を改修することゝし大正六年度より同十一年度に亘る六ヶ年繼續事業こなし目下工事中に屬せり然れごも急速なる地方の發達は到底國の施設のみに俟つこと能はざるの事情あるを以て地方に於ても地方費又は夫役を以て道路の改修に努め國庫より補助金を付して之を助成し以て地方の開發を促したり今明治四十三年度以降大正六年度末迄に於て國庫補助に依り改修したる治道の成績を示せば一等道路八十六里八分二等道路三百十七里一分三等道路百十二里九分市街其の他の道路十四里五分餘總計五百三十一里餘此の總工費三百三萬一千九百四十九圓にして內國庫補助百八十八萬九千五百三十六圓なり以上道路の竣成こ共に人力車自轉車及び改良荷車の使用を增大に便利こなれり然るに近時騷擾事件の發以來夫役制度更改せられ民心公共事業を怠り監督も亦弛みしが故に道路一定の破壞するや復舊容易ならず近時又洪水、山崩れ等の被害も少からず道路の破損橋梁の流失等多く折角に進步せし自動車等も避難を告けつゝあり道路問題は今後に大に盡力を要する一項なりこ思惟す

## 侯・鯖・錄

### 酒 (三)

南嶺醉人

鳥居龍藏氏の話に聞いたが、現在帝國の領土內で、酒を造ることを知らぬ人民は、臺灣の江頭嶼に居る蕃民ばかりであるこいふことだ。それほご酒は古くから廣く行はれて居、從つて文人詩客の筆に上つたとも夥しいものであるが、中にも萬葉集に載せてある大宰帥大伴旅人卿の讃酒の歌十三首は、率撰なる感想を率直に歌つたもので面白い歌にいふ

驗なきものを思はずは一杯の濁れる酒を飮むべかるらし

身後百年の名は、生前一杯の酒に如かずこいふ樣な意味である

酒の名を聖こおひし古の大き聖の言のよろしさ

清めるを聖こいひ、濁れるを賢こいふ支那の故事を引いたものである

古の七のかしこき人ごも、ほりするものは酒にしあるらし

竹林の七賢が御氣に入つたこ見ゆる

かしこしものいふよりは酒飮みて醉哭するしまさりたるらし

惜ぶつて生意氣いふよりも、酔うたわ言の方が餘程ましだこは痛快

いはむすべせむすべしらにきはまりてかしこきものは酒にしあるらし

酒德廣大、言語詮說の外に在り

なか〳〵に人こあらずは酒壺になりにてしがも酒にしみなむ

伯倫が棺の代りに酒瓶に屍を納れよこいつたよりも、酒壺になりたいこは、更に痛快だ。それで思ひ出したが、岡山に守屋仙庵こいふ醫師があつた、是も劉伯倫流の酒好きであつたが、其の辭世に『われ死なば酒屋の竈のわきに埋よもしやしづくがもりやせんかん』であつた。旅人卿も濟哉々々能く吾意を繼いだこ微笑されたであらう(此項未完)

## 高秋吟 (第廿二回)

新蕎麥　大正九、十二、七

○男若し新蕎麥を打つ襷がけ　綠童
○新蕎麥や夕闇に鳴る驛の鈴　但人
○新蕎麥や床に置きたる鉢山茶花　迦南
○茹でし新蕎麥に月の光り　推城
○夜を休む水車淋しや走り蕎麥　橙黃子
新蕎麥や彼の高嶺の雪日頃

—高秋吟終—

ポケツト 新年號 婦人犯罪號

家庭小說 洋裝の女
滑稽小說 運春お玉
北極奇談 蓬家雪松
新聞奇聞 石油の臭
探偵實話 硫酸の罐
不思議實話 犯さぬ罪

讀口繪 壽美代 南水
三拾錢

酒のみ形容詞研究
結婚中の犯罪研究
新聞小說興盤研究
大相撲星取番付
俗謠小話金時計
(漫畫) 女の一生

犯人搜索懸賞付 探偵小說 意外の犯人 —久松古深作—
高利貸莊野殺しの嫌疑は專ら女優時代にかゝつた。茲に不思議な朝鮮人が現はれる。虛偽の陳述をする円滿宮顧士の正體は何者? 疑問は疑問を生んで愈々捕捉し難し。

新懸賞 千六百圓の金貨
女の犯罪と月經
(新譯奇聞) 二人息子
死んだ亭主の復活
將棋新手合

小說 亞砒酸の謎
實話 覆面の貴女
怨恨 郡視學殺し
長崎 口繩中納言
大阪 島屋の沒落
法廷 雪晴れ

懸賞 俳句……鳴雪選 川柳……曉紅選 一口噺……吹笑軒
(漫畫漫文) 嫉妬の鏡
毒婦實話 高橋お傳 淺右衛門述 明治三年毒婦の一人女賊お傳の物語と共の最後を描く

東京市 博文館

徹底的年末特價提供 大好評を博したる
眞の實用懷中時計
最近十六型以上に販賣の瑞西國ビジランド特製ニッケル片蓋十ヶ年保證付
15 16 17 最新型
特價一個一九圓五十錢
(同型金鍍金側…) 同13形…

紳士の携帶用こして眞に持つべき品を高からしむる品こして機械の組織又堅牢且精巧なる動作に深き注意を拂ひたれば時の正確なる事敢て…
今や財界不況の爲め急遽資金の都合上時價よりも遙かに安き空前の破格を以て特價提供す…

東京九段下飯田町四ノ一六 寺尾商店 振替東京七六四〇

同源

第三號 十二月十日發行

●同源第三號の要目
▲日鮮兩民族同源論梗概(讀み切三十八頁の大論文) 文學博士 喜田貞吉
▲有史以前の日韓關係 東京帝大講師 鳥居龍藏
▲同本異末(下) 鮎貝房之進
▲江戶時代に於ける朝鮮信使の道中 淵野馬俊
▲朝鮮信使の使用したる日本地圖 文學士 荻山秀雄

發行所 京城太平通二丁目 京城日報內 同源社
賣捌所 京城日韓代理部、大阪屋、日韓書房、ウツボ屋、嚴松堂
●本號定價金壹圓(郵送料不要)

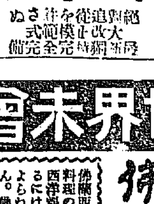
創始 東洋第一 東京自動車學校
收入多大ノ自動車界ニ來レ
京城自働車講習所 京城黃金町三丁目
釜山自動車講習所 釜山府榮町一丁目

實業之日本

年末財界批判 無配當の會社
宇治川電氣の實質……芳水
廣告看板の改良……清水正巳
勞働支配人を設けよ
カルクス療法
(年末) 反省すべき十二ヶ條
排日土地法の通過と其影響
賞與金は何に投資するか
銀行家の見込んだ男
破綻者救濟すべきか放任すべきか

十二月十五日號 實業之日本社

特約 賣取引 千歲號



精米機 最廉價卸賣
足踏精米麥機 殖產工業 特價提供
大阪難波芦原町

明治大學講師 文學博士 佐久間信恭先生著
斷じて類書に許さぬ誇り

詳解 英和熟語難句辭典

引出し易し
箇所は理想的
熟語難句の數は內外類書の追從を許さず
例は現行教科書及試驗問題より蒐めたるものなれば生氣潑剌
類句の異同辭は錦上更に花を添へたり
体裁は空前の新形大きからず小さからず製本極め堅牢使用するも綴目等傷む事なし亦幀裝の華美空前にして机上を飾りて異彩を放つに充分なり

本書を一度使用せば永久忘れられず
大きさ 全く理想的
定價一萬部限金參圓也 送料金廿八錢
値上 至急申込を要す

賣捌 京城本町大阪屋號書店
東京神田裏神保町 發兌 三德社 振替東京三〇一八一番

撫順炭

京城
(カ) 三國商會 電長三九〇〇番
西村商會 電長三九〇二・三〇三〇番
龍山貯炭場 電二五八番
南大門貯炭場 電三〇九二番
釜山南濱二丁目 三國商會釜山出張所 電長一一二九番
大邱元町 三國商會大邱出張所 電長五六五番
平壤代理店 平松商店 電一六一番
元山代理店 小泉商店 電四五一番

世界未曾有

佛蘭西料理講習錄

第壹號 十二月十日發行

佛蘭西料理は西洋料理の軌範です。西洋料理を調理するには佛蘭西式によらねばなりません。佛蘭西式に則つて說明した本錄は紳士、淑女、料理人、司厨、給仕人の必讀の書であります。

講習期間一年・會費月一圓・內容見本付會則進呈

◇贊助入會者◇ 芳名一班
東伏見宮家 大山公爵家 安田善三郎殿 麻布德川家 南大曾殿 伊達侯爵家 志村直子殿 戶田伯爵家 大橋新太郎殿 古河男爵家
小石川德川家 大倉喜子殿 新莊吉生殿 關戶せき子殿 森下博殿 三浦成子殿 伊藤鉄之進殿 秋穗けい子殿 紅葉館中內殿 大阪富中本店
勝田和子殿 熊本縣女子師範學校 新潟縣實科高女學校 帝國ホテル 砂川久五郎殿 大連ホテル 葛村久太郎殿 大阪商船會社

東京銀座 國際料理研究會

# 日本の統治權
## 聯盟理事會の確認

國際聯盟理事會は赤道以北の前獨領大平洋諸島を日本の委任統治に又赤道以南の諸島は濠洲の委任統治に任ずる事を確認せり（ゼネバ十八日發電）

## 其後の加入國

聯盟總會はアルバニアの聯盟加入を可決せり又アルゼバイヂアン、ウクライナの二國は其國境確固ならず且其國境不正確なりと云ふ理由により又リヒテンスタイは其領土甚だしく狹溢なりとの理由により其の加盟申出を否決されたり（ゼネバ十七日發電）

## 日本外交の失敗
### 南洋の委任統治問題

南洋委任統治問題は十九日を以て決定を見たるが又もや日本外交の失敗を加へたるに過ぎず即ち講和條約第二條第二項の規定に關し日本は抗議を提出し濠洲、ニュージランド兩國は理事會の裁斷を求めんと主張しゐたるに日本は十八日聯盟總會最後の日に於て自ら其の抗議を撤回し同條議規定は依然其儘存置され日本は之等赤道以南の諸島との間の自由取引の地を斷たれたり尚ほ十八日日本代表より撤回に關する聲明書を發表せるが左の如し（ゼネバ十九日發電）

日本政府は本問題を未決の儘延引せしむる事を欲せざる精神より當分現行の委任統治規約に同意する事に決定せり然れども此の規定は日本臣民が同委任統治諸島に於て差別的待遇を受くる事に同意したりと見做すべきものにあらざる事を聲明す

◎國際聯盟理事會は委任統治に關し濠洲は其の委任統治領域内にて日本人を排斥する權利を保留したる旨を再び確言したり之に對して日本は此の決定には日本が滿足せるものと解すべからずと昨夜聲明せり（紐育十八日發電）

## 愈々幕を閉じた 第一回聯盟總會
### 次回は明年九月五日 瑞西ゼネバーで開會

ゼネバーに於て開會中なりし國際聯盟總會は十七日結了閉會せり伊太利委員チツトニー氏及び佛國委員レオン、ブルジョアー氏は夫れ〲自國委員間に意見の相違を來し一致聯絡を欠きたる爲めに閉會に先立つて歸國せり英國委員バルフォーア氏は十九日ゼネバーを發し歸國したり次期國際聯盟總會は明年九月第一月曜日（五日）ゼネバーに於て開會する事となりたりと確聞す（東京電報）

## アルメニヤ救援の爲
### 國際軍派遣を提議

羅馬尼外相ジヨーネスノエ氏はアルメニア救援のため一萬四千の國際軍派遣隊を組織せん事を提議し羅馬尼も右派遣軍に參加すべしと約束しアルメニアの形勢が特に羅馬尼に對し危險なるはこれ露國がアルメニアに於ける勞農政府を承認したるによると斷言せり彼れ是れ綜合するに羅馬尼は露國との葛藤を恐れ居れりと傳へらる尚羅馬尼外相の提議はアルメニアの委任統治に言及せり（ゼネバ十六日發電）

## 次回の通信會議
### 明年五月巴里にて開催

華盛頓に於て開會中なりし國際通信會議は舊獨逸海底電信處分問題につき各國委員間に協議を重ねたるが何等の決定を見ずして一先づ中止する事になり會議は近に時日を改めて開會する事となれるが次回は巴里に於て開會すべしと主張する論者もあれば又倫敦に於て開會すべしと唱ふるものもあり多分巴里に於て明年五月開會する事となるべしと言ふ（東京電報）

## 巧みな新聞泥棒

十二月十二日午後十二時札幌驛着の終列車で來た大阪毎日新聞を積み込むので別に怪しみもせず渡したが後刻にして全く詐[illegible]古新聞を發見するなど[illegible]直に手配の結果[illegible]雜貨屋に十七圓餘で賣り飛ばし[illegible]が驛に受取りに出掛くる奴を廿[illegible]けに限らず少數の盜難に絕えず[illegible]到着すると緩急車の中からホー[illegible]へ投り出された數個の新聞[illegible]分を賣飛ばして金にすると云ふ[illegible]手段である者こそ好い迷惑[illegible]

## 自稱勞農大使
### 米國より追放さる

勞働卿ウィルソン氏は昨日自稱勞農露國大使マルテンスの追放命令を發せり其理由とする所は同氏は米國を顛覆せん事を主張する團體の一員にして之と氣脈を通じつゝありと云ふにあり尚マルテンスの擁護人は裁判所に控訴して追放命令の中止をなすべく努力すべしと期待し居れり（紐育十七日發電）

## 駐日大使候補運動
### 米國次期大統領ハーヂング

ハーヂング內閣の下に目下諸外國に於ける大公使の椅子を求むる申し込み殺到しつゝありハーヂング氏は毎日五百通の手紙を送りつゝありと云ふ而も駐日大使の申込み者は數人に上り特にアルゼンチン公使にして日米關係に就き種々の論文を書きたるチャールス、シエタル氏及び日露戰爭前後駐日公使たりしロイドグリスコン氏等は熱心なる候補者なりと云ふ又先般來朝したるウアンダーリツプ氏も次期駐日大使との噂あり（紐育十七日發電）

## 緩衝國として存置
### する極東共和國

オムスクより來れる勞農政府の代表者の言に依れば極東共和國は依然緩衝國として存置し共產主義を實施せずと（長春十九日發電）

## 沿海州へ赤色軍
### を輸送ある計畫

過激派は目下日本軍司令部に過激派軍一個旅團を沿海州に輸送するの許可を求めやうと交渉中であるが一向話が纏らないさうである（哈爾賓電報）

## 齊多の切符制度

齊多にては逐日來食糧切符制度開始せられ目下麥粉一封度三圓にて露國硬貨日本紙幣共に流通し居れり（長春十九日發電）

## 段々赤化する支那
### 過激派の南方援助說

支那紙は勞農露國が互讓の精神に依り友誼的に支那の革命援助の爲めレーニン孫文氏間に契約成れりとて其の原文と稱するものを載せたるが右に對し支那の某消息通曰く露國にてレーニンの下にある過激派支那人はレーニンと孫文氏とを結び付けんとの思想を問ひ合せ來りしに就き孫氏の思想はレーニンとは大なる相違ある旨回答せしことありと聞く其の後のことを聞かざるも右の說は眞實と思はれず、と更に曰く然れども支那は刻々赤化に努めたり以前レーニンより上海に在る露國過激派代表に孫文氏して將來の勞農支那を想像せしむ、余の知人にも過激主義を宣傳する模樣あり先日湖南長沙にて軍隊は給料不渡りより暴動を起したるが是等の中には勞兵會なるもの組織され居たりと聞く彼等は俸給の不渡りは官僚軍人の私利に依るものとして湖南軍の總司令部其他の官署を襲ひて掠奪し一般民には好意を表して一も掠奪せざりしと之最も注目すべき傾向にて將軍等は久しからずして兵卒の爲めに逐はるゝに至らんかと（上海電報）

## 徐樹錚天津に歸る

支那警察の報告に依れば徐樹錚氏は二名の秘書を從へ最近日本汽船にて天津に歸り日本租界旭町の自邸に入りたるが十六日は十四名の安福派員徐氏の私邸に訪問したりと（北京十七日發電）

## 露支同盟說否認

張將軍は莫斯科にて勞農政府と條約を締結したりとの說を否認し露國の現狀は慘澹たるものにして政府の有らゆる手段は農民の反對を買ひ凡て實行不可能なり農民は生活必需品を都會に送付する事を拒絕し居れりと（哈爾賓十八日發電）

## 米支新借款に反對

北京政府は今回米國より一千萬元借款せんとするに對し湖北各界は十八日午前聯合會を開會し不承認の旨を決議し外交團に通告したり（漢口十八日發電）

## 明年度の大演習
### 山陰地方に於て擧行

明年度陸軍特別大演習に關し上原參謀總長は曰く秋季演習令の規定に基き參加すべき團體を定めて本月中に勅裁を仰ぎ之を各師團長に申達し且陸軍大臣及教育總監に通知し更に演習の計畫を立案し明年二月中に勅裁を仰ぐ筈なるが擧行地は山陰地方の筈にて參加師團は廣島第五、姬路第十、岡山第十七の各師團其の他なるべく大演習を山陰地方にて擧行するは最初のことなりと云へり（東京電報）

## 兩院開院式次第

來る第四十四議會は二十五日を以て召集せられ當日貴衆兩院共に午前九時迄に各員登院十時開會各部屬を決定し部長理事の互選をなし茲に兩院の成立を告げ

**衆議院** は貴族院及び政府に又貴族院は衆議院及び政府に各其旨を通告し二十六日は日曜につき二十七日午前九時衆議院は開院式を擧行し勅語に對する奉答文を附議し議長指名にて十八名の特別委員に起草を附託し委員は直に別室に立案起草し其間本會議を休憩委員の起草終ると共に本會議を開會可決して散會此日

**貴族院** は開院式後直に散會廿八日衆議院は午前十時開會全院委員長並に各常任委員各委員長理事の互選を行ひ廿九日より一月二十日迄休會すべし又貴族院は午前十時開會奉答文を附議可決し全院委員長並に各常任委員並に委員長理事の互選をなし同樣休會を可決の上散會する筈なり（東京發電）

## 刑事訴訟法
### 改正調査

司法省法律調査會は刑事訴訟法改正並に陪審法制度の關係あるを以て陪審法案の審議を完了する迄調査を中止し居たりしが陪審法案の審査了れるを以て來る二十二日より引つゞき刑事訴訟法の調査を開始する筈なり（東京電報）

## 海員懲戒法
### 改正に著手

遞信省にては海員懲戒法改正に著手し司法省參事官山岡萬之助氏の來援を得て折角審議中なるが現行海員懲戒法は共に海員懲戒を規定せるも海難の際に於ける船長其の他海員の過失を判定せしむる手段方法を定めず爲に審判方法は唯審判的に陷る弊あり故に今回の改正を機として船舶航行の際難に遭遇せる原因を判定する手續を規定し又海員審判は司法外事部又は遞信省にて海員制度を定めて刑事訴訟法に基づき起草中なるが要するに時代の趨勢に鑑みて改正をなさむとするものなりと（東京電報）

## 獨逸大使
### ゾルフ氏陞任

本邦駐劄獨逸代理大使ハイエルム、ゾルフ氏は特に特命全權大使に陞任の事に決定したる旨本國政府より通牒ありたるが信任狀到着の上捧呈すべしと（東京電報）

## 駐日白國公使
### 本國へ轉任

本邦駐劄白耳義代理公使クルティ氏は今回參事官に陞任して本國クラークルに轉任を命ぜられたるが後任者著任の上歸國すべしと（東京電報）

## 高崎氏重態

貴族院議員錦鷄間祗候高崎親章氏は目下腸病にて赤坂長坂の自邸に於いて靜養中なりしが昨今頗る重態にて近親者は憂慮し居れり（東京發電）

## 池田博士歸朝

本年七月家庭裁判制度調査のため米國に出張したる司法省參事官池田寅二郎博士は廿日横濱入港の天津丸にて歸朝し同午後二時東京驛到着の豫定なり（東京發電）

## 新官制の内容
### 監察官は專任二名＝鮮人官吏優遇＝道知事異動せん

總督府官制を改正し新に監察官を置き又事務官數名を增員する件に關しては既に法制局の審議を終りたるを以て近く勅令を以て公布せらるべし監察官は專任二名とし內一名を勅任一名を奏任とするものにして尙ほ奏任をも任命し得るものなるが兼任は幾人を任命するやは總督府に於ても未だ確定し居らず時と事情に應じ適當人員を任命するられる事となるべし事務官增員は朝鮮人中人材登用の趣旨に基く總督府の朝鮮人優遇の新施設にして人員は五名にて全部朝鮮人を以て特別任用に依るを得るものなり右監察官及事務官の人選は既に確定せる如く南鮮某知事總督府に入りて勅任監察官の椅子に就くべしと傳へらるゝが然る時は道知事中二三の異動行はるべしと觀測さる又鮮人新總督府事務官には特任官中より特任せらるゝ者と郡守より任命せらるゝものとあるべく郡守中にも若干の異動あるべしと

## 農村救濟
### 當局の施設

農村金融不況に關し總督府當局は其救濟策に就いて腐心し既に各地金融組合をして適當の救濟的活動を講ぜしめつゝあるが更に煙草生產者に對しても救濟的意義を以て葉煙草買收に關し資金を融通せしむるが如き施設を開始したりと

## 產鐵問題
### 解散か否か

**當局訪問** 產業鐵道會社解散申請のため來城中の岡村取締役有馬古賀兩代議士は十九日午前水野政務總監和田鐵道部長を訪問したが共に問題の解決を告ぐるに至らず總監部長共に熟考の餘地を存する旨の挨拶を爲し又朝鮮の交通政策上より云へば同社の解散を極めて遺憾とすと述べ結局過般鐵道部に申請されたる解散認可の書類には何等の瑕疵あり更に再び提出を求めたる由なり

**書類不受理** 朝鮮產業鐵道株式會社にては一般株主總會にて解散を決議せるを以て同社にては總督府に對し解散申請書を提出したるも同書類には施行規則第四十四條に依り解散理由を具備せざるべからざるに單に總督府に對し解散を申請するものなれば總督府にては十八日不受理の扱を爲し同社に返還せし由

**兩派の會見** 產業鐵道問題に就て解散主張側たる有馬代議士一行及び岡村同社專務と非解散を主張せる京城側私鐵協會の釘本藤次郎氏賀田直治氏等とは十九日午後一時朝鮮ホテルに會見を遂げたるが結局兩派の各代議士間にも又岡村氏の所說にも各立場によりて所說を異にせる如く有馬氏の所說は所謂財界不安を唯一の根據とし付て水野政務總監に面會の際も本問題に付き諒解を求めたるも之を陳情するを得ず依て伊藤秘書官を通じて解散の餘儀なき情勢を述べ來りたるが其後政務總監より何等の回答に接せざりしを以て默認せるものと思考して解散を決意せるなりと又岡村氏は確實なる總督府の方針即ち拂込に對する補助金の如きも九朱となし總督に於ても朝鮮統治上是非とも鐵道政策を貫徹する決意にて產業鐵道株に對しても金融を得るとなれば現時解散の大勢を翻へすは強ち難事ならず又自己も職を賭して實行せんと云ふにあり島田古賀兩氏は既に現狀となりては總督府に於て認可を與ふべきものにして若し然らざれば今後各方面に於て其反感を誘起するな[illegible]

**地方有志奔走** 產鐵解散問題に關し關係人物の來城中なるを機とし反對陳情のため[illegible]

## 問題の歸結

金泉有志辻松山上三樂、尙州有志渡邊常雄、山田房太郎の四氏十九日朝來城即日各方面を陳訪し二十日は總督政務總監其他を訪問反對の氣勢を擧げ居れり產鐵解散問題の茲に至りしは總督府の態度にも幾分の緩漫氣味あり重役の高慢關係地方民の冷淡等相加はり居れりと見るべくなほ[illegible]議運動が會社の解散決議前に盛せしものならば其の効力多からんも今日として時期遅れの觀あり結局浮動株の買收等により實力に於て大勢を動かし得ば兎に角然らざれば前途の見込み少し唯產鐵解散反對の呼號により他鐵道の動搖を防止し得ることゝせばその運轉も徒爾ならざる譯なりと某有力者は語れり

## 朝鮮軍人の俸給
### 一般武官と同額に改正

朝鮮出身軍人の待遇は一般武官と同樣となれるが俸給のみは依然別個の俸給令にて給與せられ居りしも之をも同額とする爲め第四十四議會に總督府豫算として提出さるゝ由（東京特電）

## 京畿道評議員任命發表

京畿道評議員は二十日左の通り任命せられたり

**民選**（地方費令施行規則第二條第二項ニ據ル者）

| | |
|---|---|
| 京城府 | 大久保雅彥 |
| 同 | 賀田直治 |
| 同 | 金漢奎 |
| 同 | 元悳常 |
| 仁川府 | 加來榮太郎 |
| 高陽郡 | 林宗相 |
| 廣州郡 | 李胤鍾 |
| 楊州郡 | 張然哲 |
| 漣川郡 | 洪顯庠 |
| 抱川郡 | 李海朝 |
| 加平郡 | 李寬榮 |
| 楊平郡 | 李範世 |
| 驪州郡 | 李邦鉉 |
| 利川郡 | 李哲載 |
| 龍仁郡 | 趙炳烈 |
| 安城郡 | 閔泳喜 |
| 振威郡 | 鄭雨興 |
| 水原郡 | 韓相鳳 |
| 始興郡 | 趙重完 |
| 富川郡 | 姜臣馨 |
| 金浦郡 | 金重驥 |
| 江華郡 | 權泰亨 |
| 坡州郡 | 金在聲 |
| 長湍郡 | 宋遠燮 |
| 開城郡 | 岡本豊喜 |

**官選**（同第三條ニ據ル者）

| | |
|---|---|
| 京城府 | 古城菅堂 |
| 同 | 石原磯次郎 |
| 同 | 釘本藤次郎 |
| 同 | 安藤又三郎 |
| 同 | 鈴木一來 |
| 同 | 韓相龍 |
| 同 | 張燾 |
| 同 | 閔泳綺 |
| 仁川府 | 萩谷籌夫 |
| 同 | 丁致國 |
| 水原郡 | 中屋堯駿 |
| 開城郡 | 朴宇銘 |

新選道評議員（上段右より）大久保雅彥氏、賀田直治氏、金漢奎氏、古城菅堂氏（下段右より）石原磯次郎氏、釘本藤次郎氏、安藤又三郎氏、韓相龍氏、閔泳綺氏

## 選任事情
### 工藤京畿道知事談

道評議會員選任の結果に就ては民選側は高點者を任命し同點者に就いては當局に於て多少採擇を加へたり又官選任命は可成多方面から學識あり名望ある士を求める方針を採つた滿鐵東拓の特殊會社からは安藤又三郎氏及び鈴木一來氏の任命を見ることゝなつた人選には隨分公平を期した積りである但人選に際して京城仁川方面に任命者多かつたは自然的に止むを得ない現象であると思ふ兎に角に道評議會は始めての試みである故先づ最初は從來の地方行政の計畫を語り一應のみ込みの出來た上で豫算に對する意見を聽きたいと考へて居る

## 五割の配當

をなさんとせば一年三割五分二十七八萬圓六割とせば四割五分三十五萬圓內外の純益を得ば可なり夫れ式の利益を生むに仁取として何の不可能がある唯仲買人課稅影響は如何なる關係を生むか不明なれど同所の存在を脅威する事は總督府としても相當方法を考慮すべしと云ふにあり悲觀說を排しつゝありき

以て一株八十五圓の實力あり既に收納せる富期の利益を合算せば今日解散するも百圓以上の價値あり況んや朝鮮唯一の取引所にして且つ五六割の配當可能なる同所株の權利が二三十圓にすぎずとは割安と曰ざるべからず殊に同所は積立金と拂込預金の收入にて年一割六七分の收益あり

## 道評議員初會議
### 明年三月か

二十日選任されたる道評議員の初會議は道に於て總督府より受くべき補助金の確定を要する關係上多分來年三月中旬頃なるべし

## 殖鐵愈開通
### 二十一日

西鮮殖產鐵道は愈二十一日より沙里院載寧間開通總督府よりは新田鐵道部工務課長出張會社側は賀田西島兩常務外出沙せり尙ほ會社としては明春を期し開通式を擧げ別に擧式をなさゞれど沙里院有志間に祝賀會の計畫ありと

## 仁取反騰
### 悲觀過度に 銀行の同所觀

仁川取引所に對する新課稅は本紙既報の如く內地同率と決定その同所に及ぼす影響は手數料の一割五分の徵收に過ぎず旁現在の成績を以て推移し一期六七萬圓に過ぎざる事判明し且つ安値は有力家の買煽ひもあり二十日京取前場は休日前に比し十二圓上放れの百三十七圓に寄附同値引けにて結局底値に比し十五圓方反騰せり尙ほ銀行側につき同所株の將來觀を聞くに今日に於て拂込金積立金を

## 改善は今後に
### 賀田常務談

新私設鐵道中最も速く工事に著手し最も速く開通した點に於いて自ら愉快を覺へます然し車輛速力その他の改善は注文品の到著その他のため之を今後に期する譯で何れかと曰へば尙ほ到らぬ點はありますが將來の完成を期ひます私鐵問題の八釜しき際本鐵道が明年度の計畫たる沙里院起點三十三哩までの工事進捗に支障のない財力を擁してゐるのは幸福とも云へる拂込か若く

## 鮮銀より五百萬元
### 吉林督軍の借款計畫

吉林督軍は吉林の財政極めて困難に加ふるに本年は邊境防備のため軍費多額を要したれば五百萬元を得ざれば越年し難きを以て吉林の森林を擔保として朝鮮銀行より五百萬元借款せんとすと報告し來れり（北京十七日發電）

### 鮮銀當局談

吉林省から二月前左樣の申込はあつたやうであるが話はそのまゝになつてゐて實際問題とはなるまい唯同行當局で希望を有つてゐる事は事實かも知れぬ

## 學校評議員選擧
### 二十日學校組合で擧行

學校評議員會の第一回選擧投票は既報の通り二十日午前八時半より京城府廳土木課（學校組合會議場）に於て擧行されたが會場前には各洞町總代聯合休憩所が設けられて幕の街に一層の景氣を添へた其內に町洞總代聯合會公認候補並に自發的に運動を開始した各候補等は續々詰めかけ豫定を超ゆること一時間九時半になつて投票は開始されたが辯護士劉文煥氏を第一着として正午までに入場した者二十七人を算した場內には投票箱を圍んで齋藤府尹以下立會人が嚴然と構へて三百有餘人の有權者の選擧權使行狀況を見守つてゐる午後一時頃には總督府活動寫眞隊の出張撮影があつたが投票は午後五時を以て締切り直ちに開票する筈である（午後二時記）

## 山路提督來城
### 新任挨拶

新任鎭海要港部司令官山路一善中將は新任挨拶の爲め十九日夜來城二十日齋藤總督及び水野總監及び大庭軍司令官其他を訪問したり

## 總督の晩餐會
### 山路提督招待

齋藤總督は十九日入城の山路鎭海要港部司令官の爲め二十日夜官邸に於て晩餐會を開催大庭司令官淨法寺師團長大野憲兵隊長奧田旅團長其他各團隊長[illegible]

## 總監邸晩餐會

水野政務總監は二十日午後六時より鎭海要港部司令官山路一善氏を正賓とし外十九名を自邸に招待晩餐會を催したり

## 野積倉庫廢止

鳥致院野積保管倉庫は今般廢止せり

## 天然氷拂込

資本金[illegible]萬圓を以て計畫されたる漢江天然氷株式會社にては二十日第一回拂込を徵したり

## 裁判所令改正

朝鮮總督府裁判所令中改正の件は制令として二十日附官報を以て公布即日施行せらる

## 公會私會

○見習講習會終了式 廿日正午より本府第三會議室に於いて[illegible]見習講習會の終了式あり終つて[illegible]講習員一同に對し[illegible]より茶菓の饗應ありたり

○師團下士忘年會 第二十師團下士及判任文官は十八日午後[illegible]より師團司令部東食堂に於て忘年會を開催した

## 人事消息

▲野村龍太郎博士（滿鐵社長）二十日東京發朝鮮經由歸連の筈

▲永富一也氏（第二十師團司令部一等軍醫）初年兵受領の爲め內地に出張中の處二十日夜歸城

▲坂井師團副官 同上十八日夜歸城

▲石田氏幹氏（軍司令部法官部長）二十三日頃小倉に出張

▲井伊彦介氏（軍副官）十九日釜山より歸城

▲宇佐美勝夫氏 此程東京市赤坂區青山北町一ノ一八へ轉居

▲米澤尙三氏（神戸稅關長）二十日朝退城

▲荒木京大總長 十九日午後七時十分釜山着直ちに新羅丸にて內地に向へり

▲佐々木志賀二氏（代議士）二十日朝釜山上陸同十時北行したり

▲平田德太郎氏（前仁川觀測所長）來二十三日午前八時五十分發列車にて出帆赴任の筈（仁川）

▲賀田直治氏（朝鐵常務）二十日沙里院へ

▲美濃部鮮銀總裁 明三日中東京發歸鮮の豫定

▲松野爾平氏（代議士）廿日朝滿洲より入城朝鮮ホテル滯在同夜出發歸京

▲牧山耕藏氏（同上）右同行東上

▲末松熊彥氏（李王職事務官）[illegible]の訃に接し福岡縣京都郡稗田村に歸省中

▲大崎應作氏（新任慶北道技師）過る廿六日赴任

▲關根重憲氏 今回釜山朝鮮時報主筆となり數日前赴任

▲水町步兵大佐（臨時軍事調査委員）二十一日夜間島方面より[illegible]

**正誤** 昨紙產鐵解散記事中[illegible]の三字を脫漏せるものに付訂正

# 明年木材界如何(下)

## 日本側と支那側

### 本年は在庫品吏に動かず

明年度の財界 今や財界の危機も漸く危險界より逸出し得たるが如き觀あるも這は要するに安定に過ぎずして俄に回復期到來するや否やは頗る疑問とせざるべからず之を大正十年度の帝國豫算上より見るも行き詰まりたる帝國の財政は急に積極方針を立つるに至らず事業繰延べ等多き點より見て滿蒙又は朝鮮に於ける積極的事業の勃興するは望むべくもあらず又一方民間にありては農產物の慘落は一般の購買力を減少したるが如く建築界に於ても俄に擡頭復活の期に入るや否や甚だ疑問なりと見ざるべからず唯聊か意を强うするに足るものは大正九年度の國庫豫算の事業に屬する繼續工事中時期遲れたる爲め大正十年に引き延ばしたる若干の官營工事殘存する事是れなり

原料木材需用 鴨綠江材中原料材と稱すべきは少數にして、軸木原料材製紙原料材杉松の小丸太とす本年朝鮮製紙會社の原料材は會社直營として約十五萬尺締を伐出したる以外安東縣よりも相當多數の木材を買收したるが如し又目下工事進捗中なる鴨綠江製紙會社も第一期計畫の火入は明年七月遲くも八月なるべきを以て相當多數の原料材を消費するに至るべく或は財界の如何によりては大角優良材よりも小丸太松材の需用增加に伴ひ價額昇騰の時期あるを期待するを得べし

料機側の疲弊 大正七年の木材生產費より大正八年の生產費は非常に昂騰したる事は一般物價の暴騰に伴ひたる現象にして料機側にありては非常の苦痛を嘗めたる處なり殊に特筆大書すべきは本年上流渾江流域に於ける出水は皆無と云ふべく江畔に搬出したる筏の數約四千臺なりしに對し流下し得たるものは僅に一千臺に過ぎず殘り三千臺は徒らに江岸に堆積したるを以て資金の回收を得るに由なく唯天を仰いて無情の怨聲を放つのみなりしより料機の疲弊困憊は意想外にあるべく隨つて本年冬の入山者は非常の減少を見るべく生產減少は當然の歸結と見るを至當とせん

結論は困難也 前述の如く在貨の減退支那側需用激減銀相場の變落保合滿鐵及び滿鮮日本木商の手持品の多少、パルプ原料材の需用料機側の疲弊と入山者の減少、隨つて生產能率の減退等より綜合斷案を下せば自然大正十年度の木材界の反面を窺知し得べしとするも、其の結論は十人自ら異りたる斷案を下すに一任するが當然なるべし(安東縣)

## 御眞影下賜 大邱小學校

大邱公立第二小學校に下賜せられたる御眞影は十七日午後五時著列車にて宮崎總督府屬捧持來邱したるを以て藤川道知事を始め各部長、松井府尹等奉迎一先づ道廳に奉安しそれより松井府尹捧持して第二小學校奉安庫に移し奉れり(大邱)

## 行政區域擴張 平壤商議の要望

平壤商業會議所に於ては最近平壤府勢の進展顯著なるものあり即ち對岸船橋里の發展航空隊の新設等行政區域擴張の必要を認め今回總督府內務局長及び平安南道知事平壤府尹に對し左の如き要望を爲したり(平壤)

平壤府勢の膨脹進展に鑑み平壤府の行政區劃を擴張し大同江府尹及現市街隣接地を平壤府に編入する事並に對岸工場地區商業住宅地區設定方に關しては客年二月十日付を以て夫に要請陳情致し置候處其後府政の進展一層顯著なるものあり將來雄大なる商工都市建設を促進すべき幾多の新事業實現し現に對岸都市計畫の如き北樞散の發展を見るに至れるは洵に欣幸とするところに有之候就ては此際行政區劃の擴張は益々實施の必要切實なるを加へ當時府理事者の說明せる大同江鐵橋の完成を俟つ能はざる狀勢に際會せる次第は茲に架說を須ひざる所に御座候仍而此際計畫を斷行し以て府勢の進展に順應すべく大正十年度より平壤府行政區劃の變更擴張案の實施切望に不堪候勿論當局としては十分の御用意可有之と存じ候得共商工業者其他一般の熱望に基き重ねて及要望候也

## 載寧の好況

殖鐵の開通に依りて 黃海道載寧は今回殖產鐵道開通することゝなりたる爲め頓に人氣を呼び商業又殷賑を呈しつゝあるが右開通につき載寧邑內の居住民は一大祝賀會を開催すべく計畫しつゝありしが何分年末多忙の際なれば一時見合はすこととし開通當日たる二十一日は各戶國旗を揭揚し煙花を打揚ぐる位に止め祝賀會は來年陽春の候まで延期することゝなりたりと(沙里院)

## 長箭港寂寞

鰮漁業不振の爲め 江原道長箭港は從來同道に於ける屈指の良港なりしも近時頗る不振に陷り昔日の活氣なく寂寞の感あり其の原因は鰮漁業一時盛に經營され外國との取引行はれ居りしが近年鰮漁業頗る減じ一面經濟界の不況と相俟つて當業者は門戶を閉鎖し漁業從事者は漸次引揚げたるが爲なりと(春川)

## 新義木商困難 金銀建の相違

曩に滿洲迄に安東縣より朝鮮に輸出する原木及び製材に對して關稅を撤廢せられてより安東より朝鮮方面に販路を開拓するもの漸く多きを加へたるが最近銀貨の暴落に伴ひ木材仕入れ價格非常に安価となりし爲め益朝鮮方面への輸出旺盛を加へ來りたるより忽ち新義州の木材商は甚大の打擊を受け其の困難の狀は局外者の想像以外にあるが如し其の理由は一方安東縣の木材は鴨綠江採木公司を中心として銀建なるに一方新義州の木材は營林廠を中心として金建なるを以て金銀建値の相違より安東側は常に新義州側より安値を示し居るを以て先月營林廠は各種製材より約二割の値下げを斷行したるも其の後安東の銀價は益々下落しつゝあるを以て今日の銀價を維持するとせば新義州材は常に安東材の爲めに壓迫せらるゝの已むなきに至るべし殊に苦痛を感ずるは營林廠の大口取引店にして營林廠は其の引取を希望するも取引店は木材の賣れ口杜絕せし爲め引取らざる狀態にあり今後安東材と新義州材との競爭は益々激烈を極むるに至るべしと觀測するものあり(新義州)

## 仁川穀物集散

十一月中に於ける仁川港米穀集散高は搬入高五萬二千六百八十一石搬出高五萬六千七百九石月末現在九千三百四十三石を算したるが之を前年同期に比すれば搬入高に於て二萬四千二百二十九石を減じ搬出高に在りては三萬七千五百六十三石增加し月末現在に於て六萬八千六十九石を減ぜるが之れ一般先安見越に支配せられ思惑的貯藏するもの皆無となりし結果並に金融の梗塞關係に基き搬入高よりも搬出の增加を來せるものなりと(仁川)

## 義州道評議員

平北道義州郡に於ける道評議員候補者當選者左の如し(新義州)

李明煥▲朴用植

## 學議員選擧

大田郡 大田郡學校組合評議員は左の通り郡守より任命ありたるが炭洞面は選擧期日に選擧を執行せざりし爲未定なり(大田)

大田面朴榮與、韓元敎、外南面金思漢、閔泳君、山內面宋鎭億、宋炳用、柳川面宋淳在、閔晉鎬、懷德面任璟宰、宋學彬、東面朴鴻來、美奎永、北面朴榮燦、朴勝玉、九則面洪寅朝、杻城面李秉鉉、宋憲泰、鎭岑面李俊基、李文圭、縣內面金完洙宋容用

新義州府 二十日執行せらるべき新義州府學校組合評議會員選擧に際し鮮人有志發起の下に十九日同地公會堂に於て候補者推選會を催うせり(新義州)

平壤 平壤學校組合評議員選擧は二十日平壤府廳に於て執行せらるゝ筈なるが議員定數は十六名にして有權者は地稅附加稅家屋稅附加稅一圓以上を納むるものなるが右は平壤居住の鮮人々口五萬の內僅に百五名にして議員候補者は平均七票にて當選すべく其の結果如何は誠に注目に値すべしと某鮮人有力者は語れり(平壤)

大邱 大邱に於ける學校評議員十二名の選擧は廿日午前十時より午後二時迄大邱公立普通學校にて執行さるべきが有權者百廿三名は十九日午後二時より大邱公會堂に有志大會を開き公認候補者隆選をなすと共に選擧權尊重の申合せをなしたり(大邱)

## 道知事訓示(五)

忠南 學校長會議に於ける

私の尊敬する或先輩の話に其の人は嘗て中學校長をして居つたことのある人でありますが校長は生徒を敎育さへすればよいものと思つて居つたが之は誤であつた校長は生徒を敎育する前に先づ敎員を敎育すべきものであるで實際世の中の敎育者と神官と僧侶位理窟をよく云ふ者はない而かも其の理窟が實際に通用しないので困る云々と云ふことを云はれたことがありますが之は主として敎員の常識と云ふことに就ての話であらうと思ひますそして所樣な意味に於て部下敎員を敎育する必要のある場合もあるでありませう然し寧ろ私は別の意味に於て即ち目下の朝鮮に於ける敎員の素質及自家研究機會の缺乏と云ふ上から見尙環境より刺戟の貧弱と云ふ樣な點から考へて見て諸君が生徒を敎へる前に先つ部下を敎育することが敎授の目的を達する上に於て必要でありはせぬかと思ふのであります勿論之は惡意で云ふのではありませぬ敎員をして其の任を充たし又之を全うせしめる爲にかくせねばなるまいと云ふ見地から云ふのであります兎に角諸君が日進の文化に後れざる樣一層部下を督勵し指導して敎育の實績を擧くる上に一段の努力を致されむことを切望します

最近に勅令第五百廿九號を以て朝鮮敎育令が改正に成り普通學校の修業年限四ヶ年を六ヶ年に延長し同時に普通學校規則其他に改正の行はれたとは諸君御承知の通りであります之か改正の旨趣如何は同時に發布せられた總督府訓令並に之に關する諭告に明示せられてある所でありますので多を言ふ必要はありませぬ結局新政の根本義に基いて朝鮮に於ける國民普通敎育の期間を內地と同樣にし時世の進步に對應せしめむとする主旨に外ならぬものでありまして今後朝鮮人敎育の一新生面を開くべき重要なる改正と云ふて差支ないのであります一體植民地の敎育に關しては先進國中にも色々の方針がありまして中には成るべく植民地の敎育を低くして置いて之が統治を容易にせうと試みたものもあり今日でも同し樣な議論をする者のあることを聞くのであります只帝國の朝鮮に對する關係は歐米の諸國に於ける植民地との關係とは全く其の根本を異にして居りますので其の敎育の方針も初めから確立して居り今日迄毫も變更する所はないのであります即ち內鮮人一家の實を擧げ內鮮人を打つて一丸としたる帝國を作る爲に適當なる國民を涵養し之に必要なる素養を與へやうと云ふことを以て其の主眼としたものでありまして此の點は終始一貫渝る所はないのであります然かも從來十餘年學校敎育が漸く進步し鮮人の智德を啓發したることの少からぬものがあることは言ふ迄もないことでありますが一般に就學の普及せず民度も之に伴はなかつた爲に四年の修業年限を以て滿足せさるを得なかつたのでありますが其の後時代も進み一般の向學心も進むで來ましたのに六年を元則とすることにしたのであります而して此の改正に依うて第一に我々の喜に堪へぬことは從來に比へて更に二ヶ年間敎育を加へることの結果として敎育の眼目たる國民性の陶冶知識の啓發と云ふ點に於て從來より更に多くの便宜を得ることゝなつたのであります諸君は此の改正の趣旨を充分に理解し一段の奮勵を以て其の目的に努められむことを望みます

## 町總代新設 府尹有志懇談

大邱府尹松井信助氏は町總代新設の件に付き十六日午後一時より府廳樓上會議室に府內各町有志六十餘名を招待して懇談する處ありしが有志者一同府尹の意を諒とし此際最も時代に適應せる施設なりとて之に賛成し明年一月十五日迄に各町共町總代並に町委員を選擧することに決定せるが各町に於て事情を異にする處亦尠しとせず故に大邱府にて作製せる町內規約準則に依る能はざる町內は準則の精神を沒せずして町毎に制定することゝし午後四時散會せるが該町總代制實現の上は府政上裨益する處甚大なるべしと期待されつゝあり

## 安東運送成績

安東運送株式會社第一期定時株主總會は十七日午後三時より安東公會堂に於て開會されたるが當期の成績は良好にして純益金一萬一千七百二十圓二十九錢其の處分方法は左の如く決定せり(安東縣)

▲六百圓法定積立金▲千七百五十圓役員賞與金▲三百十三圓五十錢創立費償却▲六千圓株主配當金(年二割)▲貳百三十八圓九十九錢後期繰越金

## 安東年賀郵便 今年は昨年より成績が好い

安東縣郵便局の年賀郵便成績を聞くに去る十五日開始當日に六千三百十一通で昨年今日の六百通に比し十倍以上の成績を收めてゐる十六日は七千三百七十一通で昨年の二千八百五通に比し四千五百六十六通多い十七日は稍下つて五千五百四十二通で昨年今日の二千二百九十六通に比しては非常な好成績である當局者の語る處を聞くに今年の成績が昨年より好いのは早くから新聞紙上で宣傳して貰つたのが一つと、又學校にお願ひして

宣傳ビラを 撒いて貰つたのも一つの効果あらしめた原因であらう今の處取り立てゝ言ふ程の奇現象もないが往々切手貼用洩れがあり、又發信人の名前(是れ主として印刷に附せられたものに)のみを書いたもの即ち受信人の住所姓名を書いてないのがある、之れは發信人の多忙から來た錯誤と見らる、

何縣何郡某 に宛てた郵便物の內には單に縣郡を書いたのや甚だしいのになると縣郡を書かずに何々村何の何兵衛と書いたのやるものもある是等は成るべく速に發信人に返付する方針であるが注意をして欲しい、又外國郵便は年賀郵便として取扱はないから是は別に出して欲しい又支那の內地で日本郵便局のない地方假令ば大孤山、大東溝、通化、奉天の奧地宛日本の郵便官局外行きは年賀郵便として取扱はないから、發信者其の積りで居て頂きたい受信は十七日まで約一千八百通あつたが何れも朝鮮、滿洲の近い處である樣だ云々(安東縣)

## 雪の金剛山

金剛山 金剛山諸峰は既に多量の降雪により萬岳皆の如く富士の秀色よりも尙に良景致を呈しつゝありと(春川)

## ヌクテ現はる 小豚の被害頻々

江原道通川郡通川面芝浦里及碧巖面新日里地方には十月上旬頃よりヌクテ出沒し小豚の被害頻繁にして芝浦里の如き七十餘戶の部落に於ける小豚は殆ど全部被害を受けたりと(春川)

## 大神宮建設

江原道江陵にては二三年前より大神宮建設の議有志間に起りたるも今日迄其儘となり居りしが此程有潮興三吉氏等重なり內鮮官民有志の發起で實現を得近日當局へ願書を提出する筈にて目下奔走中なりと(江陵)

## 初年兵入營

大田第□隊に入營すべき新入兵は十八日午後一時三十分大田驛着列車にて入營したり(大田)

## 錦山街道修理

大田より全北錦山郡に通ずる錦山街道は二十日より向ふ三日間大修理をなす由にて忠南道廳よりは係員出張之れが監督をなすべしと(大田)

## 載寧江橋竣成

沙里院より海州に通ずる載寧江橋は此程愈竣成し十五日渡初式を擧行したるが當日平壤土木局富田工務課長は土地官民有志五十餘名を招待し盛宴を催したり(平壤)

## 學校組合新築

光州 光州學校組合の事務所は目下小學校構內に建築中なるが年內に一切の工事を濟ませ室內の裝飾を終り明年一月より新事務所に於て執務するに至るべし(光州)

## 光州消防刷新

全南 光州に於ける消防組は松井理事官組頭に就任以來事業の刷新を圖り既に器具購入費約一千圓を以て一切の會計を整理し新たに不足額四五百圓を得て水道に適應せる器具を買入るべく一月中旬までには此等機械類も整頓する見込みなるを以て十五日頃を期し盛大なる出初式を行ふべしと(光州)

## 免許認可申請

株式會社安東株式商品取引所は去る十三日附を以て取引所設立免許申請書及び營業細則認可申請書を安東領事に提出したるを以て近く許可あると同時に登記の終了を見るべしと(安東縣)

## 分隊長會議

大邱憲兵隊にては十七日より三日間慶南北地方に於ける憲兵分隊長會議を開き警務及び庶務事項の打合を爲すべしと出席者は蔚山大邱馬山晉州安東の各分隊長及分遣所長等なりと(大邱)

## 倉庫會社總會

鎭南浦倉庫株式會社にては來る廿五日商業會議所に於て第二回株主總會を開催する筈なりと(平壤)

## 木商組合總會

安東木材商組合總會は來年一月十一日公會堂に於て開會正副會長及び評議員の改選をなすべし(安東縣)

## 木商評議員會

安東縣木材商組合評議員會は二十日午後三時より公會堂に於て開會さるべし(安東縣)

## 日出燐寸開業

安東縣六道溝大原通りに工場設備中なりし日出燐寸工場は此程完成したるを以て去る十七日より作業を開始したるが原料は總て木片等の廢物を利用するものにて頗る優良の燐寸を製出しつゝありと

## 郵便局官舍

安東縣郵便局官舍十二戶の內六戶は既に落成したるを以て來る二十五六日頃移轉すべく他の六戶は來年解氷後にあらざれば落成を見るに至らざるべしと(安東縣)

## 公會堂食堂

既報平壤公會堂食堂部は大澤亭主人經營することゝなりしが同氏は十九及廿の兩日平壤官民有志二百餘名を招待し披露の宴を張り右終つて直に公開したりと(平壤)

## 府尹へ記念品

過般新義州より元山府に榮轉せる府尹石原留吉氏及同夫人が新義州在任中同地方の公共事業に盡瘁せられたる功勞に謝ひんが爲め同地官民二百十數名より此程石原氏へ金時計並に金鎖同夫人へ同じく金時計及金鎖を記念として贈呈せりと(新義州)

○平銀の記者團招待 平壤銀行頭取橫山由槌氏は十八日午後六時より忘年會を兼ね喜樂に平壤記者團を招待したるが銀行側よりは重役及各係主任出席し主客歡談盛會を極め十一時散會せり(平壤)

---

の大降灰 山麓一帶 …をさされば戶外に出づる能はず十九日午前三時止みたるが屋根の上には一寸位積みたり右は富士山の噴火ならんと信ずるも…

別報 十八日午後十一…事なれば富士の噴火ならんと人心恟々たり(沼津電報)…らしめ同驛は一時作業を困難ならしめたり樹木の損害相當ある模樣なり名古屋測候所の觀測に…

他殺か 市內黃金町三の…原因未だ判明せず目下同署に…


三都大家 傑作書畫展覽會

時日 十二月廿一、廿二兩日

場所 仁川 旭屋旅館

觀覽隨意即賣の需めに應ず

主催 帝國美術協會

後援 京城日報仁川支局

# 內地歲暮御贈答品

●漢陽高麗燒 茶器花瓶 菓子器德利盃
●螺鈿漆器 茶盆、硯箱貰入 菓子皿、文庫
●神仙爐 白銅製料理器
●明太子 一木三十五錢 籠入 紙函入
カラスミ
●明太子粕漬 大一圓二十錢 中九十五錢 小七十五錢
●鶴乃味噌漬 大一圓七十錢 中一圓二十錢 小八十五錢
●鍋鶴、雁鴨、雉子
●其他數百種
●御便宜上荷造ハ堅固ニ致シテ差上マス

京城本町二丁目 朝鮮物產商 海市商會 振替京城四八番 電話一五〇番
支店 東京日本橋通四 京橋區南傳馬町

男女 有望業務 平か二ヶ月間で自宅獨習卒業出來る無試驗開業出來收入多大發展見込ある…(詳細規則は…)

特約店 佐倉金庫

佐倉金庫ノ堅牢優美ニシテ至廉ナルハ世已ニ定評アリ今之ヲ贅セス(堅牢御申越次第御見積書提出ス此際破格大勉强可仕候)

京城本町三丁目 佐藤半次郎商店 電話長一四三番電略(サト)振替口座京城一〇二〇番

# 肺病患者憂る勿れ

肺病は決して不治に非ず東京市麴町下六番町四八電話番町長九段千七百四番遠洋漁業小田喜源藏氏は肺結核にて苦悶中一滴の藥を發見し之を服せしに驚くべき効あり病苦忽ち去りたるより肺病を主とし氣管支加答兒等の人々に試むるに何れも奏効顯著にして咳嗽を治す事亦不思議也同氏は自分の病苦顧み同情に不耐二錢切手添へ照會せば詳細回答す

年末年始御贈答用 櫻正宗大賣出 釀造元直詰

壺詰には上下の口に釀造元の直詰の嚴封有之候に付御買求の節は該封紙に御注意を乞ふ

種類 五舛壺詰 壹斗壺詰 其他樽詰瓶詰各種

發賣元 山邑酒造株式會社 京城支店 京城明治町二丁目 電話八四九・一四五四番

# 鐵道開通廣告

十二月二十一日より左記各驛に於て一般貨客の取扱を開始仕候

沙里院 西鍾 上海 金山 載寧

沙里院載寧間開通

黃海道本社各驛と京義線、京仁線中の左記各驛と一般貨客の連帶運輸を取扱申候

南大門、開城、新幕、瑞興、興水、潮溪、馬洞、沈村、黃州、中和、小浦、平壤、新義州、仁川、杻峴、鎭南浦

| | | |
|---|---|---|
| 沙里院發 | 載寧着 | |
| 前九時三十分 | 前十一時十五分 | |
| 後三時 | 後四時三十一分 | |
| 後八時十五分 | 後九時五十分 | |
| 載寧發 | 沙里院着 | |
| 前六時四十五分 | 前八時三十分 | |
| 後零時十分 | 後一時四十一分 | |
| 後五時三十分 | 後七時十五分 | |
| 上海發 | 內土着 | |
| 後七時五十分 | 前八時五十分 | |
| 後一時 | 後二時 | |
| 內土發 | 上海着 | |
| 前九時三十五分 | 前十時二十分 | |
| 後二時三十分 | 後三時二十五分 | |

西鮮殖產鐵道株式會社

EUKIRIN 神經衰弱特效 ユーキリン

種類 粉末二五瓦入 錠劑一〇〇錠入

本品ハ本邦蛋白化學ノ泰斗タル帝國大學敎授鈴木博士創製ノ吸收性同化性燐劑ナリ

本品ハ營養ヲ增進シ神經衰弱、陰萎、營養不良、ノ諸症、腺病、重病回復期ニ適ス。(說明書アリ進呈ス)

本社 東京日本橋區室町三丁目 出張所 大阪淡路町・臺北府後街 三共株式會社

# 切山金堀 共同法律事務所開設

生等時勢ノ要求ニ鑑ミ共同事務所ヲ設置シ左ノ事務ヲ懇切叮嚀ニ取扱申候

事件ハ必ズ三名共同研究致候ニ付キ一名ノ辯護士ニ對スル費用ヲ以テ三名ニ依賴シ得ル效果有之候

△訴訟事務(民事刑事)
△仲裁判斷
○鑑定及和解
○契約書及定款等ノ起案
○會社ニ關スル法律事項
○事務信託及管理信託

事務所 京城府黃金町一丁目百四十三番地 電話一一二八

辯護士 法學士 前京城覆審法院判事 切山篤太郎 京城府黃金町二丁目百五十九番地(電長一八六九番)

辯護士 法學士 金雨英 自宅 京城府崇一洞九十六番地(電長一三四一番)

辯護士 法學士 前京城地方法院判事 堀直喜 自宅 京城府旭町一丁目六十三番地(電五三二番)

今般京城地方法院判事ヲ辭シ右ノ如ク辯護士ノ業務ニ從事致候

堀直喜

# 東拓と殖民事業(六)
## 移民收容の現狀
### 各移住地視察概要

其次は前に述べた二の場合即ち『割當の齟齬から移民を困らせた事』であるがこれは會社の誤錯と云ふのは少し酷で被割當者の不運とでも云ふのであらう。土地の悪いために働いても、稼いでも追つ付かず、終に會社にも非常な面倒と損害を掛け自己身を立てようとした雄志を棄て、轉避轉住した例は極少ではあるが隨にある。これは當初土地の選定上水旱害其他の考慮が充分に行はれたと信じて居つた所が續いて水害に見舞れたり旱害に遭つたりして深い痛手を負つた箇所も偶にはある樣に思ふ。今一つは附近內地人の居住關係で、新渡來者に極度の寂寞を感ぜしめたり其ために非常の仕事に全力を注ぐ事が出來ず又は偶には望鄉の念の起る事もあらうつまり會社が移民の集團的收容をしても承認後移住中止の者が多かつた所はこう云ふ事實になる事もあるのである。そして是等の口から會社を怨ませ批議の材料にされた事もある。但し之は往時耳にして極少の事例で現在に於ては餘り聞かない事である。此缺漏は彼の移住地の變更と云ふ事で補はれ又は補はるべき等である或は會社が其狀態を熟知して割當變更をしてやつた時は既に金も根も盡き果て、失敗に了る物であるのかも分らない要するに多少の事例はある。移民も昨年のやうな穀價に出會すと大抵な傷は回復して相當の餘裕を生ずる物であるから前敍の如き事例は絕無とも云へよう。が斯くの如きは比年期待し得べき事でないから土地の割當には更に一層の留意を切望したい。排民運動に加盟したり又は東拓の植民獎務に批議を加へようとする原因は大略以上の如きものである。次には少しく移住民收容後地方に及ぼせる影響に就て述べて見やうと思ふ

#### 二、耕作上に及ばしたる影響

移住民收容後地方に及ぼした諸種の影響中其耕作上に及ぼした影響の顯著なるはあるまい。移住民の渡來に伴ひ直に地方鮮農を改發するものは、集約的農法に依る收穫物の增加、調製法の改善及び生産物の加工販賣等である。移住民が改良種の栽培、種子の選擇、苗代の改良並に施肥除草其他耕作法の改良並に水車籾摺用生産物乾燥調製等の改善は直に附近鮮農に摸倣實行され且從來全然籾のみで賣買されてるたものが移住民が玄米又は精白として市場に出すのを見て鮮人も之に倣つて其收益を增して居る。なども特筆すべき事項で、黃海道載寧の移民が今度共同して其產米を大阪に出す事にして既に第一回は千餘石積荷出帆せるが其內には鮮農よりの依賴による共同販賣も數百石を含んで居る由である。是は附近市場に販賣するより運賃其他の諸費を控除しても尚石三圓餘の收益があるそうである——此玄米の大阪移出は可なり大規模に計畫してゐる——兎に角二の農事の改良と云ふを直に移住民收容の爲のみとは云ひ得ない事は勿論だが少く共非常なる效果を與へておるのは事實で慶南の金海、昌原、泗川等では移住民の農事成績が特に良いため地方官憲の農事施設をなす場合には移住民に之が補助を委囑して實行の任に當らしめておる。之は唯に慶南地方のみの例でなく到る處で聞く事である。故に移住民を收容してゐる地方とそれでない地方とは農事改良が著しく懸隔を生ずる事となる。

七十八聯隊の入隊式

# 家庭と婦人
## 正月の生花に就て
### 松竹梅は三瓶對よりは一瓶に活けるが本式
龍山　今井秀甫氏談

各家庭で生ける正月の御花に就て池の坊の大日本總華督の高役にある龍山の今井秀甫先生は語る『只今ではどこでも殆ど花の生けられない家庭はない程

**生花は流行** してゐますが、正當の理解が添うてゐないのが殘念です。全く生花は一種の技巧だと思ひ無暗に枝を撓めたり曲げたり曲藝の樣な事をしますが、生花の生命の根本的生命は高級な自然の鑑賞にあるのでいろ/\な流儀こそあれ皆その目的は自然の枝振を

**鑑賞する事** に初まつてゐますから、どこ/\までも天然景の一つの小さい斷片としてあらはさなくては其の生花にはならない譯です。無暗に美麗さか法則とかにのみ囚はれ過ぎては甚だ窮屈で妙味がありません。それかといつて濫りに脫線してもなりませぬ。畢竟法を離れて法に叶ふ樣に修養を積む事が何より肝要だらうと思ひます

**正月の生花** は祝ひ事に挿す花でこれといふて變つた挿方はありません。先づ清淨にして快感を誘ふ事が第一です。猶事なこといふ事は風俗とか常識こが或は諸弊があるか知れませんが迷信とかいふ事が大に關係するものですから、それ/\家德とか傳說とかいふものも斟酌して選ぶ事も肝要です。先づ正月の生花として

**第一に指を** 屈するのは松竹梅でこれは我國の古い吉例で一年中祝福するの意になつてゐます。時とすると松、竹、梅と三瓶對に挿す事もありますが一瓶の內に活けるのが本式です。この三植物中最も注意を挿ふところは竹の挿方で、竹は草でも木でもないといふ處から、草と共に挿す時は草の後に挿し木と挿す時は木の前に

**挿すのが例** です。それらか松と竹とは何時でもありますが、梅は一季のものですから、時として臘梅や八朔梅など代用する事もある樣ですが梅の松竹と友になつてゐるのは其よく霜雪を凌いで凜然たる寒風の中に花を開くところにあるのでありますから、臘梅や八朔梅などは交ぜ挿すものではありません

**松は常盤木** 四季色を變ぜず見るから雄大にして根ざし動かぬ處に貴さがあるのです。竹も四季色を變ぜず直な所を貴びます。日本で皇族方を稱して竹の園生と申すのも矢張り竹の園の故事から起つたといふ事です』

## 手數の懸かる『年賀郵便』
### 差出人へ注意

十五日から受付開始の『年賀郵便』中昨今左の樣な誤つたものがボツ/\表はれて來たが年末だけに之等に對する受付局の手數を煩はす事は大したものであるから一般の注意が必要である

一、私製はがきに切手貼付洩れ
一、並製した賀狀は第一種郵便物なるに無封書狀として一錢切手を貼付し差出すもの(一錢不足)
一、『年賀郵便』は外國郵便物には適用されざるに特別取扱を受くるものとして差出すもの
一、把束をなさずに脆弱なる紙葉、糸等を用ゐ投函したるため開函取集中他の郵便物と混淆するもの
一、名刺に記載する慣用語は四時以內なるに五字以上に亘る爲め不足郵便となるもの
一、屆書除りに簡單にて遞送不充分のもの等である郵便物に對して地方別に細區分をなし一々把束して差出さるゝものあらそれは當局者に於て非常に有難い事であると云つてゐる

## 魚屋さんの睨み合ひ
### 龍山公設市場魚商人の選定問題から

去る九月末頃から新龍山魚市場(水產會社)と龍山公設市場の魚商間に於て此紐のことより紛擾を惹起し爾來仲裁者の調停ある毎に

**益々紛糾** を重ねつゝあることの噂がある紛爭の原因と云ふを聞くに龍山魚市場は川田又藏を社長として二十名の仲買人を株主に組織したもので仲買人の多數は魚商人である、即ち同業者規約の下に組合が組織されて居るのであるが偶々去る九月二十日龍山に公設市場の開設を見るに及び

**仲買人中** の藤川、上澤の兩名が公設市場商人として出願したるに一方魚市場に於ては川田社長仲買人組合に圖り組合員の推薦に依り右田某を公設市場商人として出場許可の出願をなしたる然るに府當局に於ては名譽、財產、人格等を選定し許可したる以て茲に結果藤川、上澤兩人の意向にも見る端なくも紛擾を

**惹き起す** に至つたので仲裁者が來り、秋山某外數名の仲裁者が交々調停を試みたるも却て紛爭を大ならしむるの奇現象を呈して居る右に就き魚市場側の代表的意見とも言ふべき說を聞くに藤川某は組合規約を無視し獨斷の措置に出でたのは商業道德上默過すべからざる不當行爲であると云ふにあるが如し又藤川、上澤兩人の意向とも見らるべき說に依れば公設市場は何人を問はず希望者は申出でよとのことなれば早く出願せざれば如何なる人に許可さるゝやも計り難く故に一日も速に希望を願ひ出るものであるとか獨占的利益を獲得せんとしたるにあらず唯單に營業許可を得んとしたるものなれば決して惡意あるにあらず然るに組合員を除名して排斥の行動を取るは甚だ其意を得ずと云ふにあるが如し兩者の主張は相讓らずと云ふ、心ある人は龍山魚商界の爲め惜しむべきであると云つて居る

## 奉佛式擧行
### 海印寺布敎本部　海門禪老師入城

慶南三本山の一なる海印寺にては西大門通り永成門內に七千八百坪の地を卜し布敎本部建設中なりしが此程工事落成したるを以て來る二十五日同所に於て奉佛式を擧行する筈なるが同所に安置すべき佛像は海印寺より本山三職並に敎職其の他末寺の住持一同奉護して二十四日午後十時南大門驛着の豫定なりと尚今回布敎所には特に座禪堂を設け大本山通度寺の老僧八十三歲の海門老禪師を屆請こし道場の師家こし禪道佛法の學揚に努むる計畫なるが禪道に志ある數名に及び信士の座禪をも許す筈なるが海門老禪師は十八日午後八時南大門驛着入城せり

## 兩署の新築と移轉
### 本年度內に

本春警察增設と共に增設された市內東大門西大門兩署は位置及建物の都合上東大門署移轉西大門署新築に決し本年度中に成就する筈になつて居る西大門署は西大門郵便局東に新築すべく既に地均工事に着手した東大門署は未だ移轉の運びに至らぬが本年度末には鍾路通五丁目に移轉する筈である

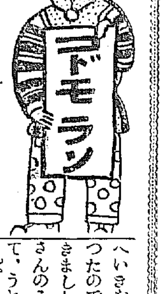
## 義太夫花競べ
後藤　梟月
一色　一葉

美聲家の兩君を比較して見やう、同じ美聲でも梟月君と一葉君とは筋道が違ふ、抑揚と云ふ點では、双方伯仲と云ふ處だが呼吸の良いのと息の強い點は梟月君が優つてゐる、一葉君は潤ひのある美聲で節尻に好い處がある婉曲嫋々、愛ひた語る場合にこの特徴が好く現はれる『堀』の如き取合せには梟月君の語に勝つた語り物である、梟月君にも餘韻の尠い微妙な處はあるが男性的の色彩に富んだものがよい『太十』とか『日吉』などは極まつたものと云つてよかろう、由來美聲家は節を巧みに語るも情を語る事は下手なものであるツマリ好い聲が邪魔になつて情が語れぬのだ、美聲家が語合いとも同じ平均に語り分けたら惡聲家は見台を擔いで逃げ出さねばならぬ、兩君の美聲の特徴は將に相反した方面に於て發揮する事を附言す

## 越年の準備
### 病魔を驅退するに　RS式物理療法

年內も僅に旬日を餘す迄となつた。何れの家庭でも越年の準備に忙しい。其の準備の中に是非忘れて置きたくないものが一つある。外でもない、新年に、遠大な輝しい計畫を樹てるべき元旦に健康の充ちた身體であつて欲しい事です。それには是非病氣といふ病氣は總て擊退してかゝる必要がある。我社代理部が久しく待望のつゞけてゐるヂアテルミー療法は斯る場合大いに効果あることゝ信じ左に其の適應病を御參考までに掲げ以て之等病魔の爲め苦しんでゐらるゝ方の一日も早く來つて治療されんことをお勸めする。

急性睾丸炎、横痃(化膿前)、るいれき、流感、腎臟炎、腎臟結石、膀胱結石、膽石症、肋間神經痛、不眠症、皮膚神經過敏、皮膚結核、皮膚は大抵著効あり痛やけ、淋性及びリウマチス、性心臟病、慢性便秘、慢性下痢、胃酸過多症、食欲不進、關節炎及神經痛の或物等が其れであります




今日から所ちやんや嬢ちやんたちのために面白い讀物を選んで載せます。たのしんでください。それから皆さまの手になつた綴方、自由畫、すぐれた投書はどし/\載せます。

## 大賣出
目良昇

いよ/\、お正月も近づいた。大賣出しはおこつひからだしの時にいつて見ると、旗が立つてゐるし、とてもきれいな、人が黑山のやうに立つてゐて、わい/\と言つてゐる。お祭りのことを思つたら、月日の立つのは早いものだ。もう十二月かと心にうかびます。さむい外に出るとひゆうとつめたい風がかほにあたりました。今日は十二月四日。樺太や北海道はどんなあせうか。僕は今朝起きてみたら、あんまりつめたいので、ストーブを見ましたら火がトロ/\ともえてゐました。それで見さんを起して、たきつけを入てから『お母さんくはひはいかがです』と言ふと『大分い、早く學校へいきなさい』といつたので、學校へいきました。其時お母さんのことばをきいて、うれしいとこだと思ひました。

正月近く 賣出しの 旗の表に 人の山 わい/\さはぐ 賣出しの どこの店でも 旗の雲

## 寒椿
藤川　淡水

庭の寒椿に赤い花が一つ。犬がのつそりやつて來て、世間お前は提灯つけて、何處へ行くかとからかつた。

## 南山莊情話(5)
# みゑ子の戀
### 男心は斯うした物　口先の戀僞りの戀　涙が濡らす枕紙

一時を打つた、二時を過ぎた夜は次第に更け渡る。けれど約束したKさんは姿を見せぬので美惠子は腹立たしさの餘り、夜具の上に坐つた儘、茶碗酒を呻るのであつた。彼座に堅く約束しながら、あんなに堅く末を契り合つた仲でありながら、何故にKさんは今夜に限れて來ないのであらう。先刻、小主姐さんが云つた通りKさんは『いろは』の國香さんと深くなつてゐるのだらうか。假令Kさんが獨り身であるにせよ國と云ふものがある以上、まさか國香さんに心を傾けるやうな事はあるまい。と思ふもの、疑へば疑ふ節も無いでもない。もし本統に國香さんにKさんを取られたら、僕は何の面目あつてお高姐さんやお君姐さんに顏が合はせやう。又朋輩の誰彼にそれ見たかと白い眼で見られたり冷笑を浴られたりする事を考へて見ると、もう/\身も世もあらず、口惜しさと腹立たしさが胸の中に沸騰させる計りである。

『俺は世界に愛するものはお前ばかりだ。俺は俺の生命までお前に投げ出してるんだ。今後如何な誘惑があつてもお前を見返るやうな事はしない。遲くもこの七月までにはお前の借金を拂つて、新世帶を作る』

斯う泣く約したKさん、それが今更自分を裏切る事は斷じてない。乾度會社の都合か、何か急に差支でも出來たのであらう。併しそれにしても電話位かけてもよささうなものだ。と思ふと此二三日電話をかけても煮切らない答へを聞かせたり、遂に呼び出をかけても姿を見せなかつたのは或は噂の通り國香さんの方に心が移つたのであらう。それからそれと想像の翅は恣まに廣がつてゆく。

飲み過ぎた故か、頭のしんがツキ/\と痛む、摸一つ隔つた隣の室では甘い戀の囁が聞へる。彼女は焦燥と苦惱とに眠られず終夜、枕を右に代へ左に替へたりした。

十五の春、始めて男と云ふものを知つてから、爾來日となく夜となく男に接したが、男は口先の巧いもの、女を玩弄扱にするもの、眞實の心の無いもの、と知つたが、それでもKさん計りは頼母しい人と信じてゐたのに、其のKさんが世間普通の男であつたかと思ふと彼の女はいつか孔臘からは涙さへ湧いて、枕の紙を濡らすのであつた。

××××××

焦燥と苦惱とに遣瀨ない夜を明かした美惠子は密かに外に出た、櫻は雪のやうに散つてゐた表通りに出ると足はいつしか『いろは』の方に向いた。

丁度此時『いろは』から出た男がある。美惠子はこある物影に身を隱して其男を凝視すると、それは二世を誓つたKさんであつた。

知らなんだ/\Kさんに欺かれたかと思ふと頭をがんと叩かれたやうに感じ、其儘其所に立竦んで憤恨の淚に咽んだ。

## 爆彈を携へた暗殺團

昨今平北宣川地方に暗殺團侵入せりとの風說盛に行はれつゝあるが爲に民心再び動搖の色あり今回は大々的計畫の下に一般官公に潛伏中なりと又地方邪蘇敎及び天道敎等は今回の決死團員は從前の如く獨立資金の調達にあらずして專ら官公吏の暗殺を目行ひ嚴重警戒中なり(宣川發電)

## 年末の警戒
### コソドロ

[illegible]して居る歲末には萬引が多いと共に賞與金を懐にした嬉しさに一家擧つて買物に出る其後に[illegible]ふ事が肝要である又電車掏摸も多い[illegible]娘であらう犯罪豫防としては戶締をせず家を明けた儘外出しない[illegible]

平北道義州郡批峴面堂後洞十五番地崔之寬(三七)方に去る十五日午後一時頃拳銃を携帶せる二名[illegible]と云ひながら携へたる拳銃を以て肩先より背部に貫通銃創を負はしめ他日再び來るべければ金五[illegible]

## 連絡船上陸客

〇十八日朝入港高麗丸上陸客▲二等(十一名)坂本良銀、坂本伊那生、藤原[illegible]〇十九日朝入港新羅丸上陸客▲二等(十八名)立川芳[illegible]▲三等(九十四名)

## 荊城寺院創立

[illegible]土宜大僧正より宣法寺と命名になり續いて朝鮮總督より本月七日附を以て許可になりたるを以て[illegible]


安全第一のかぜねつ藥　蛇印アンチピリン丸
◈かぜ◈ねつ ◈はやりかぜ ◈リウマチス ◈頭痛◈痲疹 ◈熱病一切
特長 ◈解熱鎭痛特効顯著 ◈安全にて副作用なし ◈胃中に溶解し易し
價 十錢 二十錢 三十錢 五十錢
本舖 大阪 丹平商會

クリスマス及び歲末贈答品
十二月十六日ヨリ クリスマスデコレーション
トーノック、御化粧品、西洋文房具、玻璃製文鎭、組合せ文房具、婦人用化粧具、ランプ、商品劵、贈答特製かる た

大阪屋號

ビタニオ

東京三金の靴　ボックス革特製長靴
三金高等靴店　東京市芝區愛宕下町

京日案內
不動產貸出　京城信託會社
高給社員募集　太陽生命
店仕舞及讓店
女仕募集
朝鮮料理 海東館
古本高價買入 比…書堂
そば粉 大塚製粉所
金銀 貴寶堂
貸家
執行へ 清水町
ほねつき 仁壽堂

## 宣川地方に侵入したとの説

更に藏成の目的を以て鴨綠江對岸に[illegible]的とするものなりと宣傳しつゝ地方より暗殺團決死隊二十名爆彈十六個を携帶侵入し宣川郡內にありと宣川警察署にては是等不逞流說に對し目下通行者の檢問を[illegible]

年末には例年コソ泥が增加するが本年は比較的少い各署でも過般強盜頻發當時から夜警を勵行[illegible]に依れば內地人家屋は鮮人家屋より仕事が仕易いといつて居るが內地人の家庭に油斷の多い證[illegible]びの間に大切の物を入れてはならぬと某警官は語つた

## 不逞漢出沒

[illegible]獨立軍用金を出金すべしと迫りしも所持金なかりしより其旨答へしに汝は不埒なる奴なりと[illegible]燒棄すべしと云ひ置き悠々引揚げたり（新義州）

[illegible]有馬秀雄、[illegible]六名[illegible]〇十八日夜入港博愛丸上陸客[illegible]六名[illegible]〇十九日夜入港[illegible]

## 圖們江結氷

圖們江全流結氷し十七日以降生馬車の交通自由となれり（會寧電）

[illegible]して審查中なりと（開城）

[illegible]したるを以て先般大野豐次郎氏外三十二名の連署を以て寺院建立の出願したるに高野派管長[illegible]

歳晩情景餅搗き　二十日撮影

# 呪はれた韓一銀行

## 兇賊團は短銃を手にして　二度三度銀行の金庫を狙つた　其中に雲泥洞の慘劇が演ぜられた　そして彼等の連累は檢擧された

去る四日府內雲泥洞迷德永方に兇漢侵入し鍾路署近藤刑事外兩刑事の殉職を見た大慘劇に際し犯人金仁俊事金道源を逮捕取調べの上端緒を得

### 同署に檢擧

したる連累者は、府內壽松洞七一李鍾榮（二七）同金仁俊事金道源（二九）忠信洞三一李成珪（二七）安國洞三五張錫斗（三〇）貫鐵町三の二八曹相伯（三二）平北龍川郡外上面安平洞四四李德順事李光世（三〇）京畿道水原郡水原面南昌里崔楠（三〇）同高陽郡延禧面滄川里延禧專門學校生徒林榮讓（二二）府內花洞一二五慶世講習所生徒權五潤（三〇）を逮捕訊問の結果右の徒黨は李鍾榮は元山保光學校卒業後上海支那

滿洲浦鹽等を歷遊し本年一月東滿洲日報主務理事となり屡々支那奉天に旅行し朝鮮獨立の抱負をもつて居たそして文化運動を改め軍隊運動を採り日本軍隊に抵抗せんと計畫し趣意書を撒布し居る際知人曹相伯李成珪・張錫斗崔楠と協議銃器を購入して富豪及銀行を襲はんと企てた然るに京城に於て手に入れる見込ないのに平北青年團が銃器を携へ軍資金を募集し居るを聞き本年一月頃は平北に向ひ車輦館張鮮煜と計り同地普合團と氣脈を通ずるに至つた十一月十五日李鍾榮は平北から四挺の短銃を懷中にして京城に入つた、之れに依り前記一團は力を得十一月二十二日中に雲泥洞迷德永方に至り二十萬圓を强要し遂に三萬圓を調達せよと命じて逃走した其後三百圓を

### 强奪したが

遂は彼等一團の脅迫に恐れ警察に申告し得なかつたが鍾路署刑事が探知し再び來る事を豫期し近藤李柳三刑事が同家に張り込中十二月四日午後二時頃金道源單獨に來た處を逮捕既報の如き大慘劇を演じたのである之れより先彼等は個人を襲ふも大金を得難きを知り韓一銀行を襲はんと計畫し十一月下旬ピストルを携帶

### 韓一銀行に

行つたが閉鎖を知つて中止し更に其翌日決行せんとしたが林不參張遲刻の爲め目的を果さず又々翌日同行を要はんとしたが張及林不參の爲め遂に目的を果さなかつた右犯人中金仁俊事金道源は府內の犯行外に普合團員として平北鐵山郡西林洞檢事金道來から五十圓を强奪したる外七名から

### 二千五百圓

を强奪して居る彼等普合團の一味は前記犯人以外數十名逮捕目下取調べ中であるが右鍾路署で取調べた犯人は何れも二十日檢事局に送られた

# 馬賊以上の慘害

## 長白縣在住の鮮支人　官兵の增加に苦しむ

過般來當地對岸長白縣各地を脅かしたる馬賊長好紅の一團は部下約四百餘名なるが嚮に安圖縣を襲撃後國境線を傳ふて白頭山を踰ゆ來襲しつゝあるものにて與に廿一道溝巡警局を占領し兵器彈藥を掠奪し一擧十九道溝に肉迫し將に長白府を迫襲せんとの警聞を傳したる爲長白縣官憲の狼狽甚だしく混雜名狀すべからざるものあり內地人、朝鮮人は素より支那人等は其の時を聞くと共に直に山頸に避難したるも馬賊側は如何なる作戰にや遂に旗を翻して目下徐々

### 二十四道溝

方面に退卻し白頭山麓の大森林中に冬營の準備を爲しつゝあり其後二十二道溝上流附近に於て官兵と衝突し小合戰を爲し居るも双方大した死傷なし只氣の毒なりしは採木公司輕鐵架橋工事に從事中の大工宮本某は終に狙擊せられて即死を遂げたる事なり。然るに長白縣に於ては

### 此事ありて

以來兵員の增加を行ひしを以て居住朝鮮人並に支那人は官兵の穀類徵發と軍用金を强徵せられ馬賊以上の慘禍を受けをるを以て從來非常[illegible]日氣分に煽られて無分別に對岸に移住を企てたる朝鮮民は續々朝鮮側に逆戻りするの奇現象を呈し居れり（惠山鎭特電）

# 新兵舍を燒く

## 不逞團の立籠れる　銃器其他を押收して　小池大尉の一隊引揚ぐ

小池大尉の指揮する憲兵及警察官〇〇名の一隊は十二月十四日對岸柳洞及武下洞地方に於て不逞團の剿討を實施し十八日午後四時歸隊せるが一隊は剿討地域に於て不逞鮮人一を射殺し隱匿せる銃器二十二挺を押收武下洞に於て不逞鮮人の潛伏し居たる首魁安貴の建築せる新兵舍を燒却し不穩文書一件其他の糧食米一石二斗を發見押收せり（茂山特電）

# 白雪に輝く聯隊旗

## 步兵第七十八聯隊の入隊式　中隊長の前で初年兵の宣誓

十九日午前三時半汝除りの最中に龍山驛に下車した堀田聯隊の新兵さんは二十日朝入浴後

### 各中隊毎に

中隊長の前に集まり將校下士列席の上中隊長から讀法を讀み聞かせられ一場の訓示があつてから誓文帳に『今般御讀聞相成候讀法の條々堅く相守り誓つて違背仕る間敷候事』と書した上署名捺印したが、二十日は午前八時半から嚴かな入隊式が擧行された夜來の雪で眩しい

### 旭光に映ゆ

營庭には各中隊毎と初年兵は五列橫隊に南面して整列すると二年兵は二列橫隊となつて北面して是と相對し堀田聯隊長の出場を待つ程に軍旗を先登に聯隊長が肥つた身體を靜かに現すと軍旗に對する森嚴なる

### 敬禮の喇叭

の吹奏があり次いで河田大尉指揮の下に初年兵は聯隊長の前に進み環形を作ると聯隊長は[illegible]る是に對しては常に身神を鍛錬し明治十五年軍人に賜はつた御勅諭及び今上陛下が陸海軍々人に賜はつた御勅語を奉讀し[illegible]命を捧ぐるの覺悟が無ければならぬと諭された

### 元の隊形に

着くのを[illegible]も午前午後入隊式を行ひ[illegible]

### 雪明りに輝

いた[illegible]步兵第七十九聯隊は二十一日より入隊式を擧行する[illegible]

# 南洋ヤップ島附近　大地震大暴風

## 家屋全部潰滅す　我が海軍の建築物被害大

十九日午前橫須賀鎭守府に達したる無線電信によれば南洋ヤップ島附近は數日に亘り繼續せる大地震ありしが十七日夜より大暴風となり家屋と云ふ家屋は殆んど悉く吹き飛ばされ我が海軍の建築物も大被害を蒙り同島市街は殆んど全滅の狀態なりといふ

### 海軍當局談

同地につき海軍當局の談によれば同島はカロリン諸島の西部にあり面積二百平方里にして附近の海には保礁多く低地には椰樹、コロア、椰子、麵麭樹、バナナ等繁茂し其間に部落あり土人は約八千人あり西部カロリン及ヤップ群島に於ける政治商業の中心地にして東南のトミル港は二千噸の汽船出入自在にして港に臨みて我民政府海軍守備隊學校等もあり前述土人の外邦人の居住せるもの亦多く今回の震災風災に家屋の被害のみにて人命の損害はなしとの事なり云々（東京電話）

# 鮮滿橫斷飛行

## 飯沼氏實行せば　鮮人飛行家金氏も　之に參加せん

我が民間飛行家飯沼金太郎氏に就て飛行術研究中なりし鮮人飛行家金景圭氏は熱心なる研鑽を積しからず最近著しき進境を見たるが同氏は今春來二臺の飛行機を購ひ之を以て飯沼氏と共に朝鮮海峽を橫斷し故鄕の上空に其手腕を振はん計畫なりしも不幸にして飯沼氏は東京、大阪間無着陸飛行に參加して墜落の慘禍に遭へるを以て金氏が失望此上なかりしも飯沼氏は其の後斷然快方に趣きたるを以て同氏が來春四三月の交鮮滿橫斷飛行を實行するに至らば金氏も又愛機を携へて同飛行に參加すべしといふ（東京支局）

# 上坂大隊の凱旋

## 新春早々まで延期

既記の如く十月中旬より高島第十九師團長の令下に入り磯林支隊に屬し琿春地方にありて賊徒の剿討に從事し目出度任務を全うしたる步兵第七十八聯隊の上坂大隊は本年內に凱旋の豫定なりしも御用船の都合上來春早々に延延すべく二十九日城津着の豫定なるを以て龍山歸著は一月二三日頃なるべし同隊の幹部中重なる氏名左の如し

▲大隊長步兵少佐上坂信男▲大隊副官大尉吉田雄吉▲第七中隊長大尉肥後鐵二▲第九中隊長同近藤熊門▲第十二中隊長同寺尾康次

愛國婦人會 朝鮮本部の役員會（廿日京城ホテルにて）

# 年末と各方面の景況（一）

## 臺所のお仕度　新春の獻立に必要な　公設市場の物價調べ

どこの御家庭でも春を迎ふる準備に忙しく臺所に魚菜が多く買ひ込まるゝ昨今である、昨今の各公設市場はどこもなか〳〵の賑ひで朝早うから夜に入る迄客の出入で忙しい光景が漲つて居る、明治町公設市場に行つて見ると店頭には紅白の水引かけた箱など處狹いまで積まれて新春の『守口 根あり』との張り札や『北海道鰤あり』などのビラが師走の風に躍つて是れの景氣をそへてゐる一商人について小賣値をきくと品によつて一概にいへません昨年に比し三四割も下落してるのもあればまた中には居ずはりのもありますが概して二割安の見當で新數の子の上物で百匁卅八錢、二等品で二十八錢位、鰤は百匁十六錢以上二十七錢位で、一寸程のいゝ處で一圓四五十錢位、鰹節は百匁一圓六十錢以上から二圓三十錢迄、袋入箱入とりぐで一圓以上七八圓位迄種々ある其他淺草海苔の一帖十五錢から三十五錢、スルメが百匁三十八錢以上、飛切り上物で一圓七十錢位、椎茸などは相變らずで新の上等で十匁二十八錢も下等品になると二十四錢、十五錢位のもある。出し昆布が二十五錢以上三十三錢位、漬物類では進物用の守口漬が一圓二十錢以上三圓迄、わさび漬五十錢以上一圓四十錢位の處であるがどうしても廿五日過ると需要過多で狂相場となるさうな昨今のもので先づまぐろの百目四十五錢、赤で八十錢以上一圓二十錢位、鯛百匁五十錢から六十錢、ひらめが四十錢、かれい五六十錢、かき一合五錢、鯡魚一尾三錢位、鱈六錢から十錢、大根十五錢から廿錢、葱四十五錢から五十錢、蓮百目九錢から十二錢、くわい十四錢から三十五錢位、卵が三十錢以[illegible]月の特別物はこの外である、野菜物では人蔘一貫四十錢から四十五六掛け位のものである。ひらすはそ[illegible]十錢迄、肉類ではロース四十五錢豚肉四十錢鷄肉八十錢大[illegible]が九十錢、小芋五十錢か[illegible]略以上のやうな相場である

## 餅搗きの時が來た　糯米の値段は幾何？　餅の搗賃は幾何？

景氣よい餅搗の音が彼方此方の街々で聞ゆるやうになつた本年は給取も愈各方面でボーナスが出揃つたので此たはお正月餅を搗く事が家庭の樂みである。先づ今年の糯米に就て聞いて見ると昨年に比べて約五割安で搗賃には大差がない、蓋に市中の今の[illegible]を聽いて見ると[illegible]一斗一圓四十錢前後で、昨年の[illegible]一貫目一圓廿錢位のもの[illegible]明治町の公設市場で二十一日から三十日迄餅の賃搗を開始し一般の利便に資すると云ふがその値段は內地餅一斗四圓三十錢で朝鮮餅は三圓五十錢より四圓まで[illegible]搗賃は其れぐ異つてゐるやうで[illegible]公設市場の糯米を[illegible]

## 質屋は不景氣　入質も受質も尠ない　月給取の當り年

諺に質屋と中流以下の社會生活上切り離しに不景氣を是認し得るが入質の關係は密接であるだけに裏面の經濟狀態が質屋の帳簿によつて明かに判る昨年末は空前の好景況であつたが入質客が少くして

### 受質客が

多く六ヶ月乃至一年と利息の嵩つた質物を平氣でドン〳〵受け出したと云ふ勢ひであつたから質屋業者の利益は莫大なものであつた然し本年末の景狀は如何にも府內の質屋業の狀況を質ふに昨年に比して

### 雲泥の差

がある入質すれば[illegible]

### 脅威され

[illegible]

### 本町通の

商店に[illegible]

[illegible]はしなりそうだ[illegible]一斗の[illegible]がり[illegible]五貫三百匁はある[illegible]ものだと云ふ

## 新町の玉代値下げ

諸物價は下落したが依然値下げせぬものがあつた其筋の忠告に依り遊廓業組合の値下げと共に新町遊廓も通し花一圓其他の花代は五十錢の値下を願ひ出た

## 大邱の初雪

大邱地方にては二十日午前九時より初雪降りたるが之を例年に比すれば十九日昨年に比すれば三十一日遲れたり（大邱電）

## 車窓から川中に投身

橫濱市[illegible]天通り四丁目七十三地圖[illegible]三十萬の資產を有して廣く[illegible]をなせるが本年の[illegible]資金の回收困難に陷りたるを苦にし十九日午後六時橫須賀發[illegible]列車に乘り[illegible]を距る一町の所に差蒐るや二等車の窓より川の中に飛込み自殺を遂げたり住友銀行支店長に宛てたる遺書を所持し居れり（橫濱電）

## 娼妓と驅落

京畿道[illegible]理課員藤原[illegible]は先頃龍山桃山遊廓桃の家に登樓し[illegible]娼妓桃香と相知りてより病み付きとなりお定まりの末は夫婦と約したるが桃香と二人[illegible]年期の明くを待ち切れず[illegible]誘惑し十八日[illegible]切を[illegible]り[illegible]お前となら[illegible]何處までも[illegible]の中までもの[illegible]を共に手に手を取つてドロンを極め込んだり

## 新郎新婦

[illegible]京日[illegible]行員[illegible]新郎[illegible]十八[illegible]大神宮に於て[illegible]結婚式[illegible]

[illegible]

## 東西音樂演奏會

京城[illegible]諸氏の斡旋により[illegible]院經費補助の目的で廿一日午後七時から京城鍾路中央青年會館で東西大音樂演奏會を開催する由

## 釜山の國際演藝館落成

[illegible]工費十一萬餘圓を以て[illegible]工事中なりし[illegible]は內地、京、阪、東都[illegible]にも於ける[illegible]て釜山[illegible]成し是が開館式を十八日同館階上に於て官民千餘名を招待し[illegible]した[illegible]約[illegible]の特色は定員千五百名[illegible]茶室休憩所等の設備あり[illegible]ば[illegible]

各學校當事者より志願者へ
各學校試驗官より受驗者へ
受驗と學生　新年號　大正十年　受驗準備號　いよいよ出來
十年度の受驗界
十年度新開校の五校評判記
十年度に大學の學校の新組織
各學校卒業生の就職方面調
これ迄能く出た問題と出さうな問題
眼の疲勞を豫防する方法
九年度一高入學者の學歷と得點表
各學校試驗官出題誌上各科模擬試驗
一月の高檢と專檢
別冊附錄　受驗年鑑
定價七十錢
發行　東京　研究社

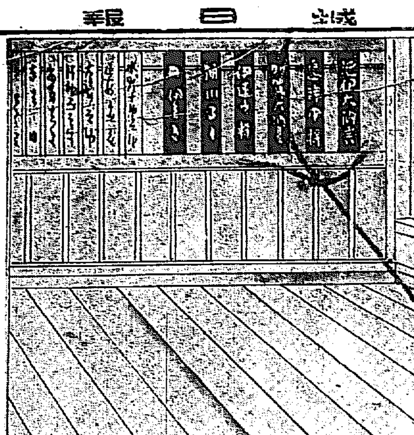
米國グドリッチ會社製
自動車及自轉車用タイヤチューブ
在庫豐富
仁川海岸町　英商ベンネット商會

# 慶安太平記

小金井芦洲講演

第四十八席

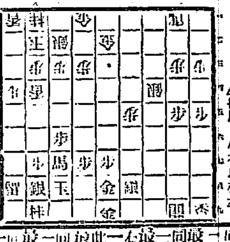
掛て忠彌は往來ふ人の兎角の噂が耳に入つて、心平かならず、ブン〳〵怒りながらやつて參りまするこ供の者が、ツッと驅けて往つて『お歸りッ』と高らかなる聲を掛けて知らせると、玄關の前戸を開けて十四五人の者がズッと整列をして出迎へる。駕籠が據付けになる、引戸を開いて立出でる正雪。門『お歸り遊ばしませ』正『ヤア今歸つた、今日は御來客を御案内して參つたからお粗末の無いやうに客室へ御案内を申上げるやう……イザ丸橋先生、どうぞお通りを願ひたい。手前は發刺と改めてお目に掛る、御免を』と云ひ置いて、正雪は先へ自分の居室の方へ入つた。門『どうか此方へお通り下さい、御案内を申上げまする』と門弟が先へ立つたが、忠彌はどうも言はれる事が一々癪に障つて仕やうがない。癇癪玉が破裂しさうになつたが今に見ろ、山師の面を引剝いでやると案内をされる座敷へ通る 門『暫時お寛ぎを願ひたう存じまする』と菓子や茶の接待をして取次の者は出て往く、後に忠彌は座前の樣子や室の裝飾の具合杯を見てどうも脅かした者だと思ふ 忠『表構へは前々見たことはあるが中へ入つて見るのは今日始めてだが、どうしても是や山師……』と思つて、ヒョイト後方を振返つて見ると八間四面柱無しの道場 忠『ハヽア大きなものだな』退屈紛れに立上つて往つて道場を覗いて見ると、正面の所へ高座のやうなものが出來て道場の周圍には黑塗の門人の姓名札八間四面の廣い周圍に掛け切れない程に掛つて居る。其の筆頭として紀伊大納言、島津中將、加賀、仙臺、細川と云ふ、どうも天下の三大々名を初めとして、立派なる旗本に至る迄ズラリと並んである 忠『馬鹿にして居るな、飽まで脅して居る何んだ、無礼な門人のあるべき謂はれが無い大方是れは一通でも逢つた人を直に門人のつもりにして、その姓名を斯うして書いて振下げるんだらう、山師の玄關と云ふ事を言ふが、實に減に入らぬ、癪に觸る奴だ、今に見ろ、一泡吹かしてやるから』と、間もなく向ふの襖を開いて以前の席へ戻つて坐つて居る立出で來つたる正雪、見ると最前とは扮裝が變つて、華美しで門人らしい者が後へ四五人隨いて席を設けると、それへ着座をして 正『サテ丸橋氏、長らくお待たせをいたしまして失禮、イヤもう立戻るのを待ち受て居る來客が數あるために、兎角忙殺されて存じながら御退屈をいたさせたる段、平に御容赦に與りたい』途端に一人の門弟が入つて來て 門『恐れながら先生へ申し上げます 正『何ぢや 門『御來客中誠に失禮ではございまするが、御使者がお待ち受けでございまするから……』正『では丸橋氏、チョッと御免を……何誰 門『只今島津家よりお使者でございまして、是非明日は枉げても先生に御來駕を願ひたいと云ふ事でございまするが、如何返事を仕りまするか 正『ハヽア、左樣か、イヤ是非伺ふと斯う申上げて呉れ 門『畏まりましてございます』下つて往つたと思ふと、又入違つて外の門人が來て『御來客中誠に失禮ではございまするが、チョッと先生に伺ひます 正『何んぢや 門『エー使者でございまして 正『ハヽア 門『只今芝口新錢座の仙臺家よりお『明日は晝過ぎに是非六韜三略火攻の巻の御講義を願ひたいと申して參りました、如何申して宜しうございませうか、お伺をいたします 正『ホヽウ明日は午前は島津家へ伺ふ約束をいたしたが……』




きれいな菓子の箱詰、組もの
明治町 電二六七〇 木村屋

## 將棋新手合(四)

於東京將棋研究會
香落 五段 ▲石井秀吉(東京)
三段 △小林孝三郎(東京)
(圖は前號指了迄の局面)
△持駒 小林氏桂歩



三筋持駒 歩二 ▼
△三一龍 ▲三二歩 △八六歩(二) ▲三八桂ナル ▲四六桂 △六八金ヨル ▲三八金ナル △四九歩 ▲同成桂 △五八金ヨル ▲四八成桂 △同金ヨル ▲九五歩 △同歩 ▲九六銀 △四九歩 ▲九六四歩(ホ) △九四桂 ▲同香 △同歩 ▲六五桂 △六八馬 ▲一九龍 ―(以下次號)

溝呂木六段講評

△(二)八六歩突き端飛廻りの定跡故此處一番の勝負所にて其時八四歩を來しては普通なれど本局の如きは未だ二九香の捌きなき故不可なり此處三二龍四三退三二飛と一旦指方優れり

△(ホ)六四歩突き手筋なれど此處九龍と香も取る方優れり若し其時敵五五馬なれば一六龍七四桂九二玉にて差支なし

鍋 寄鍋 ちり 會席料理 仕出し
本町五丁目 權平庵 電二三三七

## 十二月廿二日

(舊暦十一月十三日) ▲水曜日 ▲甲寅 ▲一白 ▲暗劍北方 ▲大安 ▲宿

冬至 午後零時十七分

▼一白▲焦つても焦つても效果擧がらざる日何事も消極的に利
▼二黒▲不得をつけ込まれ易く骨折損になる事多し新事業見合
▼三碧▲進むよりは寧ろ退くに都合よき日或は目上の引立を得
▼四緑▲至つて順調凡そ何事も面白く待人遠くより來る
▼五黄▲調和を缺く日骨肉の間柄にも氣を許すべからず萬事吉
▼六白▲平かな日諸事心の儘に運ぶ日開店、旅行、金談婚姻等吉
▼七赤▲幸福の日にして當選を意味す心を正しく持ちて萬事吉
▼八白▲喰ひ違ひ多き日大きな企て事凶旅行投資思惑買見合
▼九紫▲兎角滯りがちの日大に愼まざれば意外の破れを來す

京都 各種の染物は(龍山三角地)の 京屋京染店
新見本出來 長電話七五一番 振替京城八壹貳壹番

## 富士山噴火

十八日夜十一時富士山盛に鳴動し地方一帯に降灰あり灰は輝き光りを帯べる砂を交へ傘にあたる音の如く聞えしが多分淺間山の噴火なるべく寛永年間富士山の噴火以來當地にてははじめての事なり十五分より翌十九日午前三時二十分に亘り駿府地方一帯に砂を交へたる降灰あり時に御殿場方面…によれば淺間山の降灰ならんと目下尚調査中なり(名古屋發電)

## 四人組の追剝

江原道… 反物を貢れと迫りたるに胡は尺度を持たぬ旨を答へ自宅に來て貰つてはと言ひたるに一名の賊は突然被害者の頭部を毆打し重傷を負はせ人事不省に陷らしめ何れへか逃走したるが此の急報に接したる警察にては極力捜査中なり

一七五米穀商金定植方男某の妻は十八日夜から腹痛を訴へて居たが十九日三時頃突…係者を召喚し取調べて居る

## 廣東司法部長

徐謙氏就任

[illegible]

## 不動産競賣公告

期日 左記不動産ヲ左記日時ニ於テ競賣ニ附ス競買保證金ハ申出額ノ十分ノ一

京城地方法院

一京城府元町二丁目五十九番地 一木造瓦葺平家建本家 壹棟 此建坪十九坪 附屬木造釘丹葺平家建工場及倉庫壹棟 此建坪三十參坪 最低競賣價額金五百八拾參圓也 中立人 入江義之助 所有者 佐々木清一郎

一始興郡北面本洞里百三十二番地 一田二百五十坪 最低競賣價額金七十圓也

一同所百三十七番地 一林野參千貳坪 最低競賣價額金四百五十參圓也

一同所百二十八番地 一田參拾七坪 最低競賣價額金十參圓也

一同所百二十九番地 一田貳拾坪 最低競賣價額金四十二圓也

一同所百三十三番地 一田四百參拾四坪 最低競賣價額金壹百五十貳圓也

一同所百三十九番地 一垈貳百十四坪 最低競賣價額金九拾六圓也

一同所 一地上ニ建設 一木造草葺平家建本家 壹棟 此建坪拾四坪 最低競賣價額金壹百六十八圓也

一同所百四十五番地 一田貳百三十八坪 最低競賣價額金五十九圓五十錢

[illegible]

## 商業登記公告

[illegible]

右大正九年拾貳月拾五日登記 京城地方法院仁川支廳

胃腸病院
東京市麴町區內幸町一ノ三(日比谷公園前)
電話新橋長一六七・一六八
院長 醫學博士 平山金藏
副院長 醫學士 神保孝太郎
看護婦見習募集 小學校卒業二十歲未滿

BLUTOSE.
A New Iron Tonic,
Nutritious, Invigorating,
and Stimulating
Blood Production.

補血強壯!!!

合理的有機性鐵劑 ブルトーゼ

栗本醫學博士 塩山醫學博士 土田醫學博士 阪井醫學博士 實驗御推奬
帝國大學病院 府縣立病院 赤十字社病院 一般公私立病院 御賞用

ブルトーゼは最新の學理を應用して人工的に集成せる有機鐵化合物にして造血要素として人體肝臟中に含まるゝ鐵蛋白酸と同性同態なるが故に吸收同化容易にして何等副作用無く能く造血機能を亢進し赤血球を增加し新陳代謝を旺盛ならしめ食事營養上に强力なる作用を呈す、故に本劑服用後は著しく食慾を催進し體重を增加し精力を旺盛ならしめ皮膚の色澤を良くす、是實に醫學諸大家が皐つて補血強壯劑中の第一位として推奬せらるゝ所以なり。

本劑は急性慢性貧血症、萎黄病、腺病及肺結核其他諸疾患より來る營養不良並に衰弱、神經衰弱症、病後、姙婦、授乳婦、産後、虛弱羸瘦者等造血機能及細胞機能並に新陳代謝の亢進を必要とする者に應用して顯著なる効を奏す。

本劑に左記五種類あり病症に應じ得意の作用を呈す。

補血強壯剤 ブルトーゼ 小瓶金貳圓 大瓶金參圓
腺病性疾患治療劑 アルゼンブルトーゼ 小瓶金貳圓參拾錢 大瓶金參圓五拾錢
梅毒治療劑 ヨードブルトーゼ 小瓶金貳圓參拾錢 大瓶金參圓五拾錢
呼吸器病治療劑 グアヤコールブルトーゼ 小瓶金四圓五拾錢 大瓶金七圓
健胃強壯劑 キナブルトーゼ 小瓶金貳圓參拾錢 大瓶金參圓五拾錢
大瓶五〇〇グラム入
各瓶共小瓶二五〇グラム入
◎御注文は品目を明記し本舗へ御注文を乞ふ 大瓶五〇〇グラム入 全國到る處藥店にて販賣す萬一品切の節は直接本舗へ御注文を乞ふ

說明書、實驗錄御申越次第送呈

發賣元 藤澤友吉商店
本店 大阪市東區道修町二丁目 振替口座大阪七四壹番
支店 東京市日本橋區本町四丁目 振替口座東京壹五八九番
京城府本町三丁目 振替口座京城五五八九番

願はくば微笑を與へよ

彼や有爲の青年なり
願くはホシ胃腸藥に依つて積年の胃病を癒し、彼が双頰に紅ゐの微笑を與へしめよ。
而して消化不良、溜飮、胸灼け等の不快に苦しむる勿れ、吐瀉、下痢、腹痛等の困憊に泣かしむる勿れ。

胃病良藥 ホシ胃腸藥
壹圓 五拾錢 貳拾錢

ホシ胃腸藥の原料は一々星製藥株式會社工場の試驗部に於て嚴密なる試驗を遂げ有効成分を完全に具備するに非ざれば使用せざるが故に其の品質の優良なるは絕對に信用を措くを得べしホシ工場は規模の宏大にして設備の完全なる東洋第一の稱あり技術者としては博士ドクトル學士藥劑師等の最高の專門學者ありて自ら親しく製藥に從事するを以て其効力の的確なる當然の理なり

(赤い罐)

資本金一千萬圓
東京京橋
星製藥株式會社
各地特約藥店にあり

# 内地新聞は斯うして拔き取られる

迷惑を蒙るのは讀者である

[illegible]の各新聞五十七斤と云ふのが悉く盗難に罹つた、驚いて[illegible]では何時もの如く配達人と稱する者が例の調子で配達車に新聞を[illegible]目の附かない

[illegible]なく調べてみると某支那人の麺麭屋に其の盗難新聞の一部があるやら鮮人雜貨屋の軒先に折[illegible]

[illegible]取次所町田新聞店の配達をしてゐて遂二三日前に解雇された宋七星と云ふ奴の所爲と判明した然るに其の新聞に其翌日某鮮人[illegible]

取押へた が宋は敵で配達をして事情に通じてゐる處から町田の傭人飯炊某と共謀し恰度列車の到着時刻になつて配達[illegible]を裝ひ巧みに詐取したのである。共謀者の飯炊某は發覺を知つて何れにか逐電したが此の種の

新聞泥棒 は單に今回だ[illegible]長く讀み續けて居る小說など一枚足らぬ事が往々にしてある之れ等は夜半の終列車に新聞が[illegible]

手傳ひ [illegible]見せ掛けた配[illegible]が一包みをソツと暗に紛れてホームの頭外に隱して置くそして一樹は不足だと稱して後に[illegible]絶對に此の犯罪を防ぎたい[illegible]

## 私鐵運賃引上

### 引上認可

鐵道省に於て大正十年一月一日より貨物運賃平均二割八分の引上げを行ふこと、なりたる結果私設鐵道會社に於ても夫れ夫れ同省に於いては地方產業上荷主の負擔力其の他前回の運賃引上げを申請し來りたるを以て引上げを考慮したる上今回九十九社に對し平均二割八分の値上げを認可したり而して引上げ率は多摩[illegible]宇部兩鐵道三割六分を最高とし佐八鐵道の一厘三毛最も低く而して八年度に於ける各社貨物收入總計は八百二十二萬四千六百四十一圓にして今回二割八分の引上を行ふ結果二百三十萬二千八百九十九圓の增收となる次第なるが鐵道省にて最初の申請に就き査定したる結果減少したる金額は十五萬五千八百二十二圓なりと（東京電報）

## 鮮銀賣附銀塊

朝鮮銀行富地支店に黑河より銀塊二百貫匁を商人より持ち來りたり之にて今春よりの買付高一萬圓に上れり之等は何れも露國アムール鑛山にて七八十年前採したる刻印ありと云ふ（長春電報十九）

○日銀報況　十七日現在左の如し（千圓單位）

| | |
|---|---|
| 發行高 | 一、一三五、〇五五 |
| 正貨準備 | 一、一三五、〇五五 |
| 發行餘力 | 一二〇、〇〇〇 |
| 信用高 | 一八二、一〇二 |

○鮮銀券日報　十八日現在左の如し

| | |
|---|---|
| 發行高 | 一〇三、二一七、四八八 |
| 正貨準備 | 五三、〇七九、三二四 |
| 限外發行 | 一三八、二六一 |

○京阪金利　十七日現在左の如し

| | 東京 | 大阪 |
|---|---|---|
| コール | 一、〇〇 | …… |
| 無條件 | 一、七〇 | …… |
| 翌日物 | …… | …… |
| 六十日物 | 二、〇〇 | 一、八〇 |
| 普通步合 | 二、七〇 | 三、〇〇 |

## 財界閑話

平澤地方は去年旱魃のため今年は米の賣り物頗出で豐作頗饒係と共に資金の需要頗出▲商業銀行の支店は同地唯一の銀行だが借入申込み頗繁のためテンテコマイ▲十九日は日曜にも拘らず京城本店から三萬圓の現送をした▲二十日にも五萬圓を現送した▲年內新米金融は百萬圓を超へやせぬ乎と云はれてゐる▲同地方は米の安いに拘らずそれだけの資金の浸透により購買力も大分あるらしい▲產鐵の解散も結局ごう落ちて行くか運動や陳情が解散決議後起つたのは遺憾とせねばならぬ▲起死回生の方法は浮動株の買收により實力を以て爭ふが最も良策だらう▲所が某々代議士などは產鐵創立の發起人贊成人であり而して株を安く買ひ込んで解散の發起人となつたのだといふので▲その腹のくろさが世評に上つてゐる左樣な手合は朝鮮の實業界から遠慮して欲しいと云ふ者もある▲仁取の課稅問題で株は下たが又反騰した▲賣り方と立つてゐる者は銀行の擔保株處分を材料としてゐるが各銀行共にそんな氣ぶりはないやうだ

# 株式（小高下）

## 前場一波瀾

### 仁取急反撥

一部買方の屈服と仲力を喪ひたる京取は二十三圓摑みより二圓擱門に降落し休日前辛うじて下止まりの場面を見せたるも今朝は一圓八十錢と四十錢安に寄付き跡ずりずりと安に四十錢と崩れたるが此の邊押目狙ひの買ひ物に再び次第高を呈し十錢刻みの健合なる步調を示して二圓丁と撥げ二の遞り更に上伸を續け五十錢と上乘せしも大引利喰物に壓されて三十錢と小弛みに打止め一圓幅の波瀾に場面稍々立ちたり仁取は休日前二十圓と安値より二圓方小戾したる氣先今朝は續いて買ひ氣旺盛となり六七圓買ひに始まりしも賣手更らになく次第に飜り上げられて三十

## 七圓と一氣十二圓高に寄付き

跡六圓五十錢と弛みしも更に七圓五十錢と上伸し大引七圓と手堅く打止む其の他は鮮銀東亞滿鐵等の小口商內あり

## 後場は保合

### 仁取續反撥

前場一波瀾を演じたる京場は賣買雙方の見送りとなり二圓三十錢と同事に寄付き跡四十錢と伸びたるも結局三十錢と打止め金燃焦付狀態を呈したり仁取は前場大反撥を演じたる氣先續いて買氣強く三十八圓と一圓高に寄付跡七圓七十錢と弛みしも大引更に

## 九二圓九十錢方續騰

せり其他鮮銀新株の商內あり

## 一部買方屈服

### 年內小相場か

京取の第二期戰は一期戰の繼續戰として本年棒居の決戰なる豫期されしが最近買方主力と目されたる某氏惜しくも最後の五分間を耐ふる處となさず敵に和議を申込み

## 二十三圓乃至四圓處に仕込みたる三千餘株を二十二圓三十錢に協定肩替り

成立したりと傳へられ茲に買方一部の

## 現實暴露

となり最早や三十圓相場は全然夢想に了りたれば高値は容易に買進む者なく一般人氣は寧ろ戾り賣らんとする觀ありと之れに對する肩替り黨の內意は彼の大玉を利用して月末高に備へ儀の損失を掬つて相場を切崩し安値を安定を見たる作戰なきが如きも相場のせんとするマバラは容易に突込み來らず戾りを賣らんとする反面安値は隙かさず買向ふより今や一部の買方は進退兩難に陷り居れるものゝ如し事情右の如きを以て二十五日の納會迄は高値二圓五十七錢安値一圓三五十錢の圈內に小高下を繰返し平凡の納會に移らんとする模樣あり

## 仁取大反撥

仁取は取引所稅設定說に一部の狼狽投げを呼び之れに追隨に限先師の空賣を添へて高値より二十八圓方ガタと慘落を演じたるが共の後重役筋の意見發表に次で消息通の樂觀說續々發表され更に賣操算上決して

## 悲觀の要

なきを漸く世人に周知さるゝに至り淸々たる買人氣は飜然買に急轉して今朝は場面買陽頓さなり休日前

安値より十五圓方の大反撥を演じたり

より十二圓高の百卅七圓と寄付きし圓五十錢と伸びしも結局七圓と引け

## 前場の乙部

前場の乙部は安取十六圓五十錢と寄付き跡二十錢方下げて三十錢と引けたるが安東場の安移りに人氣漸く離らぎたる觀あり

## 後場の乙部

後場は安取續いて安く十五圓九十錢と六圓叩れを演じ跡六圓二十錢と引返し十錢と止め其他京取端株二十二圓三十錢臨時國庫債券八十八圓五十錢と出來せり

## 本日の受渡高

株數四千五十枚　代金十萬三千三百四十五圓

## 京城現株市場出來値（二十日）

| 銘柄 | | 前場 | 後場 |
|---|---|---|---|
| 京取 | 寄 | 二一、八〇 | 二二、三〇 |
| | 引 | 二二、三〇 | 二二、三〇 |
| 殖新 | 寄 | …… | 三、四〇 |
| | 引 | …… | 三、四〇 |
| 東拓新 | 寄 | …… | …… |
| | 引 | …… | …… |
| 東亞新 | 寄 | …… | …… |
| | 引 | …… | …… |
| 仁取 | 寄 | 一三七、〇〇 | 一三八、〇〇 |
| | 引 | 一三七、〇〇 | 一三九、九〇 |
| 鮮銀 | 寄 | …… | …… |
| | 引 | …… | …… |
| 同新 | 寄 | …… | …… |
| | 引 | …… | 一四、〇〇 |
| 殖銀 | 寄 | …… | …… |
| | 引 | 八、七〇 | …… |

| 銘柄 | | 前場 | 後場 |
|---|---|---|---|
| 商銀 | 寄引 | …… | …… |
| 同新 | 寄引 | …… | …… |
| 漢銀 | 寄引 | …… | …… |
| 同新 | 寄引 | …… | …… |
| 韓銀 | 寄引 | …… | …… |
| 東拓 | 寄引 | …… | …… |
| 鮮土 | 寄引 | …… | …… |
| 朝紡 | 寄引 | …… | …… |
| 滿毛 | 寄引 | …… | …… |

| 銘柄 | | 前場 | 後場 |
|---|---|---|---|
| 京電 | 寄引 | …… | …… |
| 同新 | 寄引 | …… | …… |
| 電興 | 寄引 | …… | …… |
| 東亞 | 寄引 | 三、〇〇 | …… |
| 朝煙 | 寄引 | …… | …… |
| 朝郵 | 寄引 | …… | …… |
| 殖鐵 | 寄引 | …… | …… |
| 中鐵 | 寄引 | …… | …… |
| 滿鐵 | 寄引 | …… | …… |
| 同新 | 寄引 | …… | …… |

## 主要株歩み値段

京取（前場）二一、八〇　七〇　六〇　五〇　四〇　五〇　六〇　七〇　八〇　九〇　二二、〇〇　●　一〇　二〇　三〇　四〇　五〇　四〇　三〇

京取（後場）二二、三〇　四〇　●　三〇

仁取（前場）一三七、〇〇　三〇　五〇　六〇　七〇　五〇　●　七、〇〇

仁取（後場）一三八、〇〇　七〇　●　九、九〇

## 京取の手口

十八日後場より二十日前場の京取手口左の如し

（賣方）有田四〇〇▲池田一五〇〇▲澁三〇〇▲吉見三〇〇▲金田二六〇〇▲田中五〇〇▲櫻谷四〇〇▲川崎五〇〇▲方六五〇▲井口一三〇〇▲三好一〇〇▲中津留五八〇〇▲金秀五一〇〇▲向井一〇〇

（買方）有田一四〇〇▲澁一〇▲吉見二〇〇▲金融三三〇▲田中二二〇▲塚野八〇▲櫻谷二〇▲川崎四四〇▲方八〇▲井口二五〇▲三好二〇〇▲中津留六九〇▲龍秀一六〇▲南五〇

出來高　甲　三千五百五十枚　乙　五百八十枚

累計　甲　六萬八千六百枚　乙　四千三百十八枚

## 初相場豫想

### 懸賞募集

初立會（一月四日）

京・取・株・前場寄附値段並に大引値段

仁川期米・前場三月限一節公定値段

右豫想を募集す其條件左の如し

**適中者** 各題につき一名を限り金五圓宛を贈呈す適中者なき時は最も近き者をこり多數を出したる時は抽籤を以て定む

**應募** は葉書一人一枚限りとす（但し兩題連記差支へなし）

一、締切は十二月廿五日（本社著分まで）

一、發表は大正十年一月七日

一、應募者は住所姓名を明記する事

一、宛名は京城日報社經濟部

一、條件に反する者はこらず

京城日報社 經濟部


## 株式賣買

◇定期賣買を好まるゝ御方も◇現物賣買を好まるゝ御方も◇京城株式取引市の今回收止せられたる受渡期間の延長は至極御便利の事と存ます何卒奮て御利用御下命の程願ます

株式現物取引市場仲買店

高松商會

京城本町二丁目壹一〇　電話長三〇八五番　電話市場專用二六〇六


## 東京現株特電

| 銘柄 | 二十日前場 | 十八日後場 |
|---|---|---|
| 鮮銀 | 一一一、〇〇 | 一一一、〇〇 |
| 同新 | 三三、五〇 | 三三、五〇 |
| 東拓 | 四七、五〇 | 四七、五〇 |
| 同新 | 一一三、〇〇 | 一一三、〇〇 |
| 滿鐵 | 一〇二、五〇 | 一〇二、五〇 |
| 同新 | 一六、〇〇 | 一六、〇〇 |
| 殖銀 | 一四二、五〇 | 一四二、五〇 |
| 同新 | 一一、〇〇 | 一一、〇〇 |
| 東株 | 一二三、五〇 | 一二三、〇〇 |
| 同新 | 七三、〇〇 | 七三、〇〇 |
| 連取 | 三八、〇〇 | 三八、〇〇 |
| 滿毛 | 一四、〇〇 | 一四、〇〇 |
| 朝紡 | 一三、〇〇 | 一三、〇〇 |
| 滿拓 | 二〇、〇〇 | 二〇、〇〇 |
| 日紡 | 八六、〇〇 | 八六、〇〇 |

## 大阪株式特電

| 銘柄 | 二十日前場寄付 | 十八日後場大引 |
|---|---|---|
| 大株 | 一一七、一〇 | 一一八、七〇 |
| 郵船 | 一三九、三〇 | 一三九、八〇 |
| 同新 | 五三、三〇 | …… |
| 商船 | 六八、八〇 | …… |
| 同新 | 二三、八〇 | …… |
| 鐘紡 | 二三一、九〇 | 二三一、九〇 |
| 同新 | 一二七、六〇 | 一二七、六〇 |
| 東紡 | 一一三、四〇 | 一一三、四〇 |
| 東糖 | 六七、三〇 | 六八、五〇 |
| 上取 | 六八、二〇 | 六八、二〇 |

| 銘柄 | 二十日前場大引 | 二十日後場寄付 |
|---|---|---|
| 大株 | 一一七、二〇 | 一一七、二〇 |
| 郵船 | 一三九、一〇 | 一三九、七〇 |
| 同新 | 五三、五〇 | …… |
| 商船 | …… | …… |
| 同新 | …… | …… |
| 鐘紡 | 二三三、五〇 | 二三一、一〇 |
| 同新 | 一二七、八〇 | 一二八、四〇 |
| 東紡 | …… | …… |
| 東糖 | 六七、九〇 | 六七、八〇 |
| 上取 | 六八、[illegible] | …… |

## 安東株式特電

○二十日

| | 寄付 | 大引 |
|---|---|---|
| 安取 當 | 一五、五〇 | 一五、五〇 |
| 先 | 一六、三〇 | 一六、一〇 |

## 大連株式特電

○十八日

| | 寄付 | 止め |
|---|---|---|
| 連取 當 | 三三、四〇 | 三三、六〇 |
| 先 | 三六、九〇 | 三六、六〇 |


細叺の元祖　南全榮山浦　電話五〇番　電略テナ
朝鮮細叺株式會社

出張　元山旭町、釜山、高島町、松汀里、長城、羅州、咸平、鶴橋、光州、朝鮮產內地產在庫調澤


## 株界片々

京取買方一部の屈服は年內大相場の一幕としみなき出した今一息さいふ處では腰折りつたのは返すんくも惜しい▲京取も總會に信託會社設立が決議されたら又一切頭が撥げるだらう此の年末に二十二圓以下は大分買物が掛つて居る處を見れば相場は堅調の氣構で高かりさうだ▲仁取は値嵩が値嵩だけに動きが大きい今朝の十二圓高は買する御本人もチト意外の顏色であつた▲何しろ下げ方が實賣悲觀から來たのでなく一時の人氣に壓されたのだから早晩此の反動のあるのは豫期されたのであるが▲此の株は四十圓拂込で八十何萬圓かあるそれに今日迄の積立金利益を加算すれば優に九十圓の價値がある▲年六朱配當の大株が百二十圓摑みして居るのだから五六割配合の仁取が三十何圓はチト不思議ぢやない▲市場代理人の年會が千茂で開かれた席順を建株の銘柄順で行き主客の挨拶に代ふるに威勢の好い手打式を以てしたのは確かに風變りであつた

## 賣買差引殘

賣方 ㊀四四〇〇石▲⊕五〇〇▲㊃八〇〇〇▲五〇〇〇▲⑪二〇〇〇▲⊕九〇〇〇▲丸張五〇〇▲⊕五〇〇〇▲⊗二〇〇〇▲又〇一、七〇〇▲⊕一〇〇〇▲丸近二〇〇〇

買方 ⊕四〇〇〇▲⑪四〇〇〇▲㊝三〇〇〇▲⊕一〇〇〇▲⊕七、四〇〇▲⊕三〇〇〇▲㊝三四〇〇▲⊕一、三〇〇

## 當限受渡し

今前場納會を告げたる當限は受渡値段二十圓丁度受渡石數一萬一千九百石なるが其內譯左の如し

渡方 ㊀六千石▲㊁二千三百石▲㊅二百石▲丸張一千石▲⑰三千四百石▲㊀三百石▲⊕四百石

受方 ▲㊂七百石▲又〇一萬一千六百石▲⊕三百石

## 年內此邊乎

年末接近と相俟つて一般の人氣が押目買ひの戾り賣りと云ふ態度を以つて日先姑息の方針を試みる向多きに連れ自然場面も動きの値巾も縮少しつゝあれは此際大なる變異の材料現はれざる限り年末は此邊往來相場の裡に大納會を告ぐるならん

| 十八日後場 | 寄付 | 止値 | 高値 | 安値 |
|---|---|---|---|---|
| | 九、三九 | 九、三六 | 九、三九 | 九、二七 |

| 公定 | 一節 | 二節 | 三節 | 四節 | 五節 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 九、三九 | 九、三六 | 九、三〇 | 九、三一 | 九、三五 |


仁川米豆取引所仲買人　本店電話長三一七二八　仲買店　電話九一二番

仁川米豆取引所仲買人　有價證券現物賣買　仲買店

仁川米豆取引所仲買人　坂倉仲買店　電話三五五番

仁川米豆取引所仲買人　布井仲買店　電話三二四番


# 米況（持合）

## 仁川期米

### 二十日前場

休日前阪地の下落り、共に十九圓二十七錢の安値に三十六錢と小戾しして打止めの折柄引跡阪地の氣配合みに今朝は當中出來ざるが先十九圓四十錢と手堅く寄付きたり

▲第二節　大阪寄二十六圓五十一錢の曝に當中出來ざるが先四十錢より川田の買いに五十錢と盛返し四十八九錢を採合いに引

▲第三節　當中出來ず中九圓六十五錢先五十錢と始め四十六錢と下避りせしが一筋の買物㊁共他より約一萬石餘現れしかば五十一錢と盛返し五十錢と手堅く引

▲第四節　當中出來ず中八十錢先五十錢より一十錢を持合ひ五十錢を付けに引

▲第五節　當二十圓中出來ず先四十八錢より跡阪地の氣乘り薄に三錢と小弛るみて引

▲第五節　當中出來ず先四十一錢と始め四五錢を採合ひ四錢を持合ひに大引せり

## 有力筋買出動

本日は當限納會の當日にてあり先限に對する仕人の態度振はず且つ餘日の少なき一面材料の乏しき事相場も又持合ひを餘儀なくせられしとはいへ內地各府縣に於ける農會の不買同盟が愈々具體的に實現化し來れるは共に

## 鮮米供給增加を見越し

此の點豫想の買通せんとする傾向あるのみか今前場の店より連節に買好勢に買進みたるは

## 阪地某筋 地方有力者の仕込み玉

なるが如し果して然からば仕人の勞力上にも大變化を來すべきは勿論

## 後場依然持合

| 二十日前場 | |
|---|---|
| 寄付 | 一九、四四 |
| 止値 | 一九、四二 |
| 高値 | 一九、五二 |
| 安値 | 一九、四〇 |

| 平均値段 | |
|---|---|
| 一節 | 一九、四〇 |
| 二節 | 一九、四六 |
| 三節 | 一九、四八 |
| 四節 | 一九、五一 |
| 五節 | 一九、四五 |
| 六節 | 一九、四三 |

| 限入値段 | |
|---|---|
| 當限 | 二〇、二五 |
| 中限 | 一九、七〇 |
| 先限 | 一九、四一 |

| 現在取組高 | |
|---|---|
| 當限 | 八千六百石 |
| 中限 | 三萬三千七百石 |
| 先限 | …… |

出來高　十四萬三千百石

累計　一千百七十四萬九千三百石

▲第一部　大阪前步六圓七十錢後等五十錢の安電なりしも當中出來ず先十九圓四十五錢と一丁高に寄付

▲第二節　當中出來ず先四十六錢より大阪安に三十二錢と買込みしも四十六錢と戾し四十七錢引公定三十七錢

▲第三節　當中出來ず先四十三錢

## 期米雜觀

愈々內地は今二十日から各府縣に於て農家の不賣同盟が實行されるらしい之れに就き或縣は日く果して效を奏するや否やは未だ確言出來ないが斯の如き宣傳書を配布したり亦は縣農會に於いて命令的に不賣の主旨を貫徹せしめんとする向もあるが一般に於いても先ず鮮米は増加すれば鮮米の需給が緩和して滿足し得る點に於いても今日の處鮮米價格の上昇を見越して居る向の買は[illegible]

## 京城正米市場

休日前定期鈍調の提先昨今稍乘り二十圓七十錢の當市場に於て相場は稍々軟調に三十一錢の中値の下落の噂を傳へ同日の當場出來ず玄米は三千八百を除くの止値…ら來れるが買物一巡の九錢…明らかに同盟や當局の救濟の不買同盟或は鮮內各地も自然…さるる…折柄鮮內各地も自然…を控へんとする態度ありて昨今朝は大阪期米の跡もなく…て等前日同樣の唱へながら…つ底を遲め來れる御あり

## 移出白好調

移出白米は其後九州方面より引續き注文あり值段は著しく…にて相當商談纏りつゝあり…阪神地方は一寸買躊躇の姿なるも入電は新年物荷と…十七圓二十錢錢に…未だ調談出來ざるも…除地あり且つ期米上向き…り服先多少買進み來らんか

## 仁川正米市場

定期の持合ひと共に一服気味にて休日前より變らず三等合格二十…六錢見當にて取引行はれ居れり


仁川米豆取引所仲買人　海岸通一丁目　那須仲買店　電話長三一七六二　又八一二


## 釜山正米特電

[illegible]

## 東京期米特電

[illegible]

## 大阪期米特電

○二十日前場

| | | |
|---|---|---|
| 當限 寄付 | 二十六圓三十錢 | [illegible] |
| 中限 止め | 二十五圓四十四錢 | [illegible] |
| 先限 | 二十六圓十九錢 | [illegible] |

| 一節 | 二節 | 三節 | 四節 | 五節 | 六節 |
|---|---|---|---|---|---|
| [illegible] | 七節 | 八節 | 大節 | 十節 | 寄付 |

## 下關期米特電

○二十日前場

| | 寄付 | 止め | 後場 寄付 | 止め |
|---|---|---|---|---|
| 當限 | 二十圓六圓十五錢 | | 六圓三十錢 | |
| 中限 | 二十六圓三十九錢 | | 六圓六十九錢 | |
| 先限 | 四節 | | 六圓六十一錢 | |

## 各地期米特電

○十八日後場止め

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 東京 | 二六、三九 | 大阪 | 二六、四一 | |
| 兵庫 | 二六、六一 | 下關 | 二六、七三 | |
| 桑名 | 二六、三六 | 名古屋 | 二六、二二 | |
| 熊本 | 二六、九九 | 金澤 | 二五、四〇 | |

## 大阪三品特電

| | 二十日前場寄付 | 前場大引 |
|---|---|---|
| 十二月限 | 三六八〇 | 三六七〇 |
| 一月限 | 三六八〇 | 三六八〇 |
| 二月限 | 三七一〇 | 三七〇〇 |
| 三月限 | 三五三〇 | 三五四〇 |
| 四月限 | 三五二〇 | 三五二〇 |
| 五月限 | 三五三〇 | 三五三〇 |

| | 二十日後場寄付 | 後場大引 |
|---|---|---|
| 十二月限 | 三六七〇 | …… |
| 一月限 | 三六八〇 | …… |
| 二月限 | 三六九〇 | …… |
| 三月限 | 三五四〇 | …… |
| 四月限 | 三五〇〇 | …… |

## 綿糸安持合む

大阪三品は銀塊四十一錢一厘米棉同事なれ當限二十圓強先限四十二圓强の不歩持合ひの狀態なり

たんせき ぜんそく には 服みよくて すぐ きく 類なき 安効丸（アンカウグワン）

◎流感の咳◎咽喉加答兒◎氣管支加答兒の咳の喘息にてゼイ〳〵息切れする人◎夜中咳出で眠れぬ人◎音聲嗄れたる人◎其他一般咳に◎もし◎運動家は息切せず◎聲樂家は喉た潤ほし美聲を發す

定價　二十錢　三十錢　五十錢　一圓　二圓

東京下谷區池之端仲町廿七　賣弗本舖　守田治兵衞　電話下谷四五三九　振替東京二八八

全國各地有名藥店にあり

# 演藝案內

◎大正館　本町　日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　直營　十二月十七日より大提供　八七三

日活新派（海馬鹿の探偵）長尺　◎喜劇『戀の渦』全六卷　悲劇『戀の渦き』

日活新派日本一派總出演　戀を捨て江戸兒藝妓の意氣地に混ぜられる犧牲となりて哀切なる悲劇

米國ユニバーサル會社名映畫　大活劇『黑人の意氣』全五卷　米國名女優ヴァイオラ・ダナ主演　其の一團の…

日活京都派第二部長　お金ちやん元祿女　全七卷

◎黃金館　一六三〇　十二月十六日より提供映畫

◎喜劇　先生樣々　◎新派悲劇 阪田庄太郎　全五卷　國活會社大作　新派劇『かじか賣り』全卷

◎大悲劇 千里眼　最長全八卷

◎京樂館　本町一丁目　電話九七番

日活京都派新作　新派悲劇『虎の尾』　天勝一行

◎浪花館　明治町　電話二六〇番　十二月十七日より開館

お祭佐七　全七卷　…料金普通



◎着荷御案內

△ピアノ・オルガン　△樂隊用樂器　△蓄音器

（目錄進呈）釘本樂器部　京城本町　振替六八四番　電話二八三番

御料理

眺望の佳絶　料理の美味

仁川山手町　食道樂別莊

仁川宮町　食道樂本店



食料品　漆器家具　文具紙金物　荒物履物　土管鮮人向陶器　其他日鮮人向日用品一切

蘭買入　龍山卸商組代理店　仁川新町　津田兄弟屋本店　長電話七六二番　振替口座京城三八九番

京城明治町貳丁目　津田兄弟屋支店　電話三二四　振替口座京城三八〇二番



橫濱神戶　大連門直航路開始

大正十年一月より榮港寄港

さいべりや丸▲一万噸　波斯丸●九千噸

| | 大連發 | 神戶着 |
|---|---|---|
| ▲ | 一月六日 | 一月九日 |
| ● | 二月一日 | 二月四日 |
| ▲ | 三月廿七日 | 三月三十一日 |

本社　東京市麴町區永樂町一ノ一　東洋汽船株式會社

橫濱營業所　神戶代理店　大連代理店



# 鎭靜催眠劑カルモチン

本劑は既に神經性疾患の治療劑として知られたるブローム及纈草の合理的化合体にして、殆ど無味無臭服用容易、些の副作用後作用を示さゞる神經疾患殊に、神經衰弱、ヒステリー並に神經性不眠に對する優秀治療劑なり。

（本劑の藥物學的實驗は東京醫科大學精神病學教室醫學士佐藤恒一氏に依つて詳細に實驗せられ醫學博士山田鐵藏氏醫學博士荒井恒雄氏醫學博士矢尾板四郎氏外多數醫家の臨床實驗報告を有す）

本劑は又小兒夜驚症、神經性頭痛、癲癇、船醉豫防、肺結核患者の興奮不眠等に對し奏效す。

二十五瓦入　十五錠入　十五錠入　五十錠入　（全國知名藥店に販賣す）

發賣元　大阪市東區道修町　武田長兵衞商店



京城日報

御待ち兼ねの例年の

# 特價デー は本日より廿日迄

機械類は特に　附屬品

# 一割引

（フヰルム・乾板を除く）

△本廣告切拔御持參（地方の御方は御郵送）の方に限り機械類一割五分引に可致候間多少に拘らず御用命願上候

京城南大門通り　上田寫眞機店京城支店



定期　現物

東京株式取引所仲買人　公債株式現物問屋

# 廣瀨大橋商店

東京、日本橋、南茅場町

電話浪花（三一一八）、（三二〇七）、（三三九〇）、（一一四九）、（一〇八九）、（二一三七）

受信電略トウケイヒロ　郵便私書函日本橋局第十八號

# 曙（あけぼの）

第二十四回　徳田秋聲 作　近藤紫雲 画

## お須磨（六）

其晩お須磨は遅く歸つて來た文平に、いろ／＼茶話の序に、絢子と暫らく話を交したことを話した。

『絢子さんなんぞは、ほんとに結構な境涯ですわね』と、終ひに付け足したりした。

しかし、文平は其話を喜んで聞かなかつた。始めから六かしい顔をして聞いてゐた老人は、お須磨がある興味をもつて、絢子のことを話せば話す程、益苦い顔をして來た。それを直く看て取つたお須磨は、『おや』と思つた。『如何したんだらう』と思つた。『嫁の噂、殊に良い噂をするのが、何で舅の氣に入らないんだらう？』と思つた。面白くない老人の返辭を待つような風をして、彼の女が默つてゐると、果して文平はこんなことを言ひ出した。

『然うか、だが、餘り絢子と近しくしないがいゝよ』

其聲は何時もの濁りのある、押へ付けるような底力の籠つたものであつた。お須磨はそれを意外とした。永年努めてゐる嫁と近しくするな？とは何故だらう、と疑つた。

『嫁もまだ若いし、幸ひお前と同年だから、若い女は若い女同志で、話も合ふだらうから、別懇にしてくれ。何彼と嫁にも手傳はしてやつてくれ』と言ふのが、此場合當然らしい言葉であるのに、近しくするなとは何たることだらう？と思つた。文平の言葉が、最初からお須磨の腑に落ちなかつた。で、彼の女は勢ひ質問を發せざるを得なかつた。につこ笑ひながら、然う言つた。

『何故ですの。奈何して近くなつては不可ませんの？』

『別段奈何つてことはない。まあ、お互にな、氣心の合ふまではな』

何氣なしに然う言つたもの、老人の表情は大分暗くなつて來た。お須磨は益譯が判らなくなつた。

『奈何してですか。だつて、お可笑いぢやありませんか』

『まあ可い、何でも可い。俺が然う言つたら然うするが可い、惡いことは言はんからな』

『ね、それあ然うでせうけれど……、ですけど、お可笑いわね、一つ家にゐて、そんなあなたよそ／＼しいお交際ぢや。それあね、これだけのお家ですから、合すまいと思はなくても、自然に會はない日が多うございますけどもね』

『それで可い。會はんけれあ、會はんで可い。無理に當方から遊びに行つたのなんかしなくてもな』と、文平は澁茶を啜りながら……今夜に限つて、餘り甘さうにもしないで……然うも言つた。そして、直ぐ話頭を換へた。

『ごうだ、世間は大分景氣が好くなつて、俄成金がうよ／＼出て來たが、お前のお父さんなんざ儲からんかね』

『奈何ですか』と、お須磨は些と顔を下げたが、直ぐまた上げながら『一向そんな話も聞きませんわ。それより旦那さまは、此景氣で隨分お儲けになりましたでせうね？』

『うん俺か、俺はな、……然うだな、儲けんこともないが。株が先づよかつたな。それから一二關係しとる會社の方も、去年よりかずつと好い方だな』

『辰衛さんもでせう？』

『養子か、うん、辰衛も大分氣はあるやうだね』

『何ですか、絢子さんのお話では、辰衛さんも隨分お忙しいんですつてね。お父さんと競爭だなんて、言つてらつしやるんですつて！』

『あは、、、競爭か』と、文平は豪傑笑ひをして『まだ／＼辰衛なんか、漸と今いろはを教はり始めたところだよ。本者になるのはこれからだ。は、、』

『然うですかね？』興味なさゝうに答へたお須磨の頭には、先刻の老人の言葉が、絢子と遠ざけるあの一言が、ごうしても一つの謎として殘るのであつた。拭はう／＼としても、其妙な疑ひは、ごうしても彼女の頭から消えないのであつた。

大料理 南山荘 電話五二三番

## 歌壇復活

京日歌壇も暫らく中絶して居るうちに大正九年はもはや暮れに近くなりました。本社は茲に大正十年を目の前にして、京日歌壇を復活し、朝鮮に於ける歌壇振興の一時期を畫したいと存じます。而して從來は矢橋小葩氏が專ら其の選に當つて居ましたが社務多忙のため小葩氏は今回任を辭しましたから本社は東部文壇に重きをなせる

### 尾上柴舟氏

に其の選を依囑することゝし既に同氏の快諾を得ました同好諸子の振つて御投稿あらんことを希ふ尚は課題は別に設けずその時々の詠草を歡迎し用紙葉書に限ります

## 俳句（投句歡迎）

倉庫町を歸る仲仕の冬日だ　青田みつほ
犬が少く冬の原の赤い日輪　上野しげる
土藏の奥で新米を量る菖蒲暮だ
生徒の陰さへ見ゆ校庭一杯の霜　近江 巨洋
雪晴れの山河の前に立つ直覧な心
夕空見上げ四人等今日を終へたり　熊木浪子
街底の地を踏みしめ／＼兵らは
溫突の煙一すぢ朝鮮町に秋陽何　龍山 朱鳥
秋雨の夜のたゞ一つの蚊を殺す　上田 乾雨
落葉さびしい七堂伽藍暮る、

## 氣のきいた贈答品

小麥の蛋白質から製出する味の素は池田理學博士の發明で既に世間に定評ある所なるが偶により贈答用化粧箱入を發賣せり本品は體裁優美運搬輕便殊に變味腐敗等の虞なく年末贈答品として歡迎せられつゝあり

## 新刊紹介

▲朝鮮琵琶新聞（創刊號）我が日本音樂の誇りとこゝろ琵琶の樂を聽かさるなしさほど素晴らしく勃興しつゝある今日殊に朝鮮に於ける斯樂の宣傳普及を圖るべく發刊されたるもの加納一米氏の主宰、月刊三十錢京城旭町發行

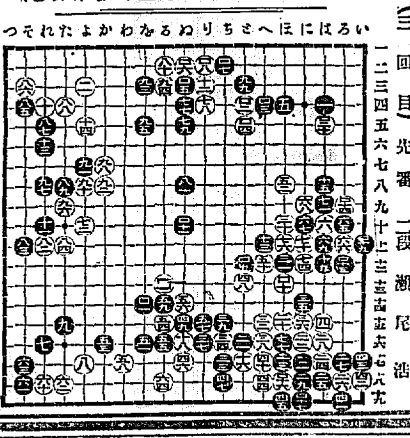
▲女性同盟（十二月）所謂新しい婦人を網羅めた婦人の集團たる新婦人協會の宣傳機關である。鋭を逃ぬる、益々内容も充實して來た（二十五錢東京府下田端新婦人協會）

## 說ろん

▲電氣會社へ私は初から毎月多くの學資を頂いて居りますが節約の出來ないのは電燈で毎月四圓近く拂ひます特別の御取計ひで京龍間を通じて一區にして頂きたいのですが如何や（一學生）▲京城現在遞入及び遞入外れ通知書は全部發送濟になりましたが私宅には未だ來ません遞入の御方は相當の者は可成相だから通知は遞入外れの者に先に發し早く健康の返る様にし處分たりとも損害を減せしむるが公平なります（千株生）

## 六華會青年敗退棋（第十一回の七）

（瀬尾氏二回勝）三回目　先々先
先番　一段　小杉丁
　　　一段　瀬尾浩



●一〇一 を十四　○一〇二 と四　●一〇三 へ四　○一〇四 と五
●一〇五 ぬ三　○一〇六 ぬ二　●一〇七 ち二　○一〇八 り二
●一〇九 さ十二　○一一〇 ほ十三　●一一一 ぬ十　○一一二 劫トル
●一一三 ろ十二　○一一四 ろ九　●一一五 劫トル　○一一六 ほ十八
●一一七 に十九　○一一八 劫トル　●一一九 い十一　○一二〇 は五

## 佛國の人民投票

▲[illegible]百八十五萬に對する四百九十三萬を以て政府の[illegible]日まで延期する旨を聲明したり（ゼネバ十九日發電）

## 愛蘭人煽動の首魁

（スタンラード紙の所報）愛蘭人煽動者の首領デー、ウアレラ氏（自稱愛蘭[illegible]）

更に波蘭に進擊の準備中なり同軍はネバール經由獨逸より多量の彈藥の輸送を受けたりと（巴里十七日發電）

## 亞細亞艦隊司令官

[illegible]

## 軍備形勢

承諾したる爲め解決したの襲擊には大したることに非ざる[illegible]あり尚今日始めて日露兩國人る軍隊は最初の蒙古侵入軍なり[illegible]の一部が庫倫を脫したり同一行或はやや數里なりや[illegible]判明せず
氣壓は滿洲北部を東に進行して以て明日は曇ならん天なるべし日本海に去りたるがその餘波を受けて昨夜も又中部地方に[illegible]


# 歲末大賣出

十二月十日ヨリ
三十一日マデ

歲末に際し平素の御愛顧に酬ゆる爲め注文部より多數の精良なる地質を引拔き御注文品と少しも變らぬ既成品を

數百着

特製致しました卽ち

トンビ　表霜降メルトン、スコッチ、ラクダ裏アルパカ繻子　普通四十五圓内外　上六十五圓内外　特八十五圓内外
オバー　表ラクダ、色スコッチ、霜降メルトン裏アルパカ繻子　普通四十五圓内外　上六十圓内外　特八十圓内外
セビロ　表霜降サージ、スコッチ霜降メルトン　普通四十圓内外　上六十五圓内外　特八十圓内外
小供マント　表黑ラシヤ縞スコッチ　普通十二圓内外　上十八圓内外　特廿五圓内外　右二尺四寸で寸法に依り高下あり

右の忠實なる定價より更に 五分引 で提供致します

陸續御來店を

京城南大門通
丁子屋洋服店
レデーメードストア

棹尾の活躍

流感豫防（りうかんよばう）

良藥にして口に甘きよたんせき志

淺田飴（あさだあめ）

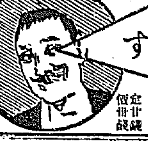
熱があり咳が出て心地惡しき人
今直ぐ召せ
おも湯や牛乳の代用として
最もよき滋養劑
からだを溫め聲をよくす

定價　二十錢　三十錢　五十錢　一圓　二圓

本舖 東京 小澤 大阪 門司 堀内伊太郎

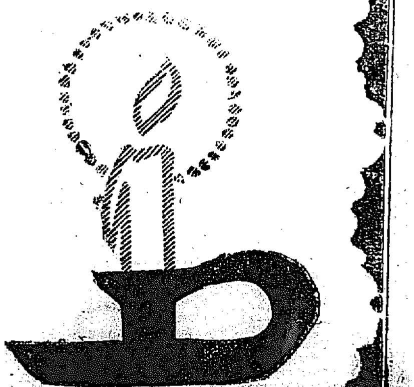
お歲暮に……お年玉に
お贈りに……お返しに
金鶴香水（きんつるこうすゐ）

月賦賣出し
英國式サクセス號 スポートホーム號
京城黄金町二
イバラキ商店
電話二九二七番



アドラ
高峰博士發見のアドリナリンを主薬とす
アドラ目藥
結膜炎 充血
眼瞼緣炎
トラホーム
其他一切の眼病に効あり
定價 廿錢 卅錢（全國藥店にあり）
東京 京橋區 南傳馬町 參昌製藥株式會社 電話京橋二七五七七

クリスマス
その宵の麗しく賑しき
天與の幸よ……



森永の菓子

森永 ミルクキャラメル 二種
森永 ミルクチヨコレート 二種
森永 クリームウェーファース 二種
森永 スポンヂメキスト 五種
森永 ゼリビンズ 二種
森永 スヰートホーム 三種
森永 ミルクココア 二種

森永製菓株式會社